

2024 年度

シラバス

〔授業計画書〕

第 1 学年

松本歯科大学衛生学院

歯科衛生士学科

<目 次>

建学の理念	1
教育目標 等	2
履修基準表	3
年間予定表	4
時間割表	6
歯科予防処置論 I	【前・後】・ 8
歯科保健指導論 I	【前・後】・ 13
歯科診療補助論 I	【前・後】・ 16
口腔生命科学入門 I	【前】・ 22
口腔生命科学入門 II	【前】・ 23
人体の構造と機能 I	【前】・ 24
人体の構造と機能 II	【前】・ 26
歯・口腔の構造と機能 I	【前】・ 28
歯・口腔の構造と機能 II	【前】・ 30
口腔衛生学 I	【前】・ 32
歯科衛生士概論	【前】・ 33
医療コミュニケーション	【後】・ 34
言語表現	【後】・ 35
病理学・口腔病理学	【後】・ 36
薬理学・歯科薬理学	【後】・ 38
微生物学・口腔微生物学	【後】・ 40
口腔衛生学 II	【後】・ 41
衛生学・公衆衛生学	【後】・ 42
栄養学・栄養指導法	【後】・ 43
身体と健康	【前・後】・ 44

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者 矢崎 泰

松本歯科大学衛生学院

◇設置目的（松本歯科大学衛生学院学則 第1条）

松本歯科大学衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。

◇教育目標

本学院は、温かく豊かな人間性と幅広い教養を備え、口腔保健の専門的知識と技術を持って広く人々の健康と幸福に貢献するとともに、地域や国際社会の保健・医療・福祉・健康の課題に柔軟に対応できる感性豊かで創造力をもった総合的な口腔保健の専門医療人を養成することを目指すものである。

◇ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）

1. 歯科衛生士として豊かな人間性と専門性を身につけ、社会に貢献できる
2. 歯科衛生士に必要な専門知識と技術を備え、口腔の健康を支援することができる
3. 歯科衛生士としてのコミュニケーション能力を有し、多職種との協働ができる
4. 歯科医療の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、自ら問題解決できる探求心を備えている

◇アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 歯科衛生士として人々の健康と幸福に寄与したいという目的意識をもっていること
2. 医療人にふさわしい温かい人間性を備えていること
3. 豊かな感性と学問への情熱を有していること
4. 専門家としての知識と技術を学ぶために必要な基礎力を身につけていること

履修基準表

	教育内容	授業科目	授業方法	履修区分	単位数	時間数	履修年次及び授業時間数			
							1年	2年	3年	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	口腔生命科学入門Ⅰ	講義	必修	2	30	30			
		口腔生命科学入門Ⅱ	講義	必修	2	30	30			
		歯科英語	講義	必修	2	30		30		
		医療コミュニケーション	演習	必修	2	30	30			
		言語表現	講義	必修	2	30	30			
		身体と健康	実技	必修	2	60	60			
小 計					12	210	180	30	0	
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	講義	必修	2	30	30			
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30			
	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の構造と機能Ⅰ	講義	必修	4	60	60			
		歯・口腔の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30			
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学・口腔病理学	講義	必修	2	30	30			
		薬理学・歯科薬理学	講義	必修	2	30	30			
		微生物学・口腔微生物学	講義	必修	2	30	30			
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	講義	必修	2	30	30			
		口腔衛生学Ⅱ	講義	必修	2	30	30			
		衛生学・公衆衛生学	講義	必修	2	30	30			
衛生行政・社会福祉		講義	必修	2	30		30			
小 計					24	360	330	30	0	
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	講義	必修	2	30	30			
	臨床歯科医学	保存修復・歯内療法学	講義	必修	1	30		30		
		歯周療法学	講義	必修	1	30		30		
		歯科補綴学	講義	必修	1	30		30		
		口腔外科学	講義	必修	1	30		30		
		小児歯科学	講義	必修	1	30		30		
		歯科矯正学	講義	必修	1	30		30		
		歯科放射線・歯科麻酔学	講義	必修	1	30		30		
		障害者歯科学	講義	必修	1	30		30		
		高齢者歯科学	講義	必修	1	30		30		
	摂食・嚥下学	演習	必修	1	30		30			
	歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	実習	必修	4	120	120			
		歯科予防処置論Ⅱ	実習	必修	3	90		90		
		歯科予防処置論Ⅲ	実習	必修	2	60			60	
	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	演習	必修	2	60	60			
		歯科保健指導論Ⅱ	演習	必修	3	90		90		
		歯科保健指導論Ⅲ	演習	必修	2	60			60	
		栄養学・栄養指導法	講義	必修	2	30	30			
	歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	実習	必修	4	120	120			
		歯科診療補助論Ⅱ	実習	必修	3	90		90		
		歯科診療補助論Ⅲ	実習	必修	2	60			60	
	臨地実習 (臨地実習を含む)	臨地実習Ⅰ	実習	必修	10	450		450		
		臨地実習Ⅱ	実習	必修	10	450			450	
	歯科衛生士特論	歯科衛生士特論	講義	必修	8	240			240	
	小 計					67	2250	360	1020	870
	選択必修分野		キャリアデザイン	演習	必修	2	30		30	
			医療事務(歯科)	講義	必修	4	70		70	
健康管理			演習	必修	1	20			20	
小 計					7	120	0	100	20	
合 計					110	2940	870	1180	890	

2024 年度 年間予定表(前期)

4月		5月		6月		7月		8月		9月							
1	月	1	水	1	土	1	月	1	木	1・2・3年: 夏季休業	1	日					
2	火	2	木	2	日	2	火	2	金	1・2・3年: 夏季休業	2	月					
3	水	3	金	憲法記念日	3	月	3	水	3	土	3	火	1・2年: 特別休業				
4	木	入学式	4	土	みどりの日	4	火	4	木	4	日	4	水	1・2年: 前期定期試験			
5	金	1・2年: オリエンテーション 1・2・3年: 健康診断	5	日	こどもの日	5	水	5	金	・HBワクチン接種 (2回目)	5	月	1・2・3年: 夏季休業	5	木	1・2年: 前期定期試験	
6	土		6	月	振替休日	6	木	6	土		6	火	1・2・3年: 夏季休業	6	金	1・2年: 前期定期試験	
7	日		7	火		7	金	7	日		7	水	1・2・3年: 夏季休業	7	土		
8	月	1年: オリエンテーション 2年: 授業開始	8	水	1・2年: 月曜授業	8	土	8	月		8	木	1・2・3年: 夏季休業	8	日		
9	火	1年: オリエンテーション	9	木		9	日	9	火		9	金	1・2・3年: 夏季休業	9	月	1・2年: 前期定期試験	
10	水	1年: 授業開始	10	金		10	月	10	水		10	土		10	火	1・2年: 前期定期試験	
11	木		11	土		11	火	11	木		11	日		11	水	1・2年: 前期定期試験	
12	金	3年: オリエンテーション	12	日		12	水	12	金		12	月	山の日	12	木	1・2年: 前期定期試験	
13	土		13	月		13	木	13	土		13	火	1・2・3年: 夏季休業	13	金	1・2年: 前期定期試験	
14	日		14	火		14	金	14	日		14	水	1・2・3年: 夏季休業	14	土		
15	月	3年: 臨地実習Ⅱオリエンテーション	15	水	1年: HBs抗原・抗体検査 (採血) 3年: 医療事務セミナー	15	土	15	月	海の日	15	木	1・2・3年: 夏季休業	15	日		
16	火		16	木		16	日	16	火	2年: 夏季休業	16	金	1・2・3年: 夏季休業	16	月	敬老の日	
17	水		17	金		17	月	17	水	1年: 月曜授業 2年: 夏季休業	17	土		17	火	1・2年: 前期定期試験	
18	木		18	土		18	火	3年: 模擬試験	18	木	1・2年: 夏季休業	18	日		18	水	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習
19	金		19	日		19	水		19	金	1・2年: 夏季休業	19	月	1・2・3年: 夏季休業	19	木	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習
20	土		20	月		20	木		20	土		20	火	1・2・3年: 夏季休業	20	金	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習
21	日		21	火		21	金		21	日		21	水	3年: 夏季休業	21	土	
22	月		22	水		22	土		22	月	1・2・3年: 夏季休業	22	木	3年: 夏季休業	22	日	秋分の日
23	火		23	木		23	日		23	火	1・2・3年: 夏季休業	23	金	3年: 夏季休業	23	月	振替休日
24	水		24	金		24	月		24	水	1・2・3年: 夏季休業	24	土		24	火	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習 3年: 前期定期試験
25	木		25	土		25	火		25	木	1・2・3年: 夏季休業	25	日		25	水	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習 3年: 前期定期試験
26	金		26	日	3年: 医療事務技能審査	26	水		26	金	1・2・3年: 夏季休業	26	月	3年: 夏季休業	26	木	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習
27	土		27	月		27	木		27	土		27	火	3年: 夏季休業	27	金	1年: 前期追・再試験 2年: 前期追・再試験・補習
28	日		28	火		28	金		28	日		28	水		28	土	
29	月	昭和の日 松濤祭	29	水		29	土		29	月	1・2・3年: 夏季休業	29	木		29	日	
30	火		30	木		30	日		30	火	1・2・3年: 夏季休業	30	金		30	月	2年: 登院試験
			31	金	・HBワクチン接種 (1回目)				31	水	1・2・3年: 夏季休業	31	土				

2024 年度 年間予定表(後期)

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火 2年:登院試験	1	金	1	日	1	水 元旦 1・2・3年:冬季休業	1	土	1	土
2	水 2年:登院試験	2	土	2	月	2	木 1・2・3年:冬季休業	2	日	2	日 歯科衛生士国家試験 (予定)
3	木 2年:登院試験	3	日 文化の日	3	火	3	金 1・2・3年:冬季休業	3	月	3	月 1年:後期追・再試験・補習 2年:後期定期試験
4	金 2年:登院試験	4	月 振替休日	4	水	4	土 1・2・3年:冬季休業	4	火	4	火 卒業証書授与式
5	土	5	火	5	木	5	日 1・2・3年:冬季休業	5	水	5	水 1年:後期追・再試験・補習 2年:後期定期試験
6	日	6	水	6	金	6	月 1・2年:冬季休業 3年:後期定期試験Ⅱ	6	木 1年:特別休業	6	木 1年:後期追・再試験・補習 2年:後期追・再試験
7	月 2年:登院試験	7	木	7	土	7	火 1・2年:冬季休業 3年:後期定期試験Ⅱ	7	金 1年:後期定期試験	7	金 1年:後期追・再試験・補習 2年:後期追・再試験
8	火 2年:登院試験	8	金 1年:月曜授業	8	日	8	水 3年:後期定期試験Ⅱ	8	土	8	土
9	水 2年:登院試験	9	土	9	月	9	木	9	日	9	日
10	木 戴帽式	10	日	10	火	10	金 ・HBs抗体検査(採血)	10	月 1年:後期定期試験	10	月 1年:補習 2年:後期追・再試験
11	金 2年:臨地実習オリエンテーション	11	月	11	水	11	土	11	火 建国記念日	11	火 1年:補習 2年:後期追・再試験
12	土	12	火	12	木	12	日	12	水 1年:後期定期試験	12	水
13	日	13	水	13	金	13	月 成人の日	13	木 1年:後期定期試験	13	木
14	月 スポーツの日	14	木	14	土	14	火 ファウンダーズデイ	14	金 1年:後期定期試験	14	金
15	火 2年:臨地実習オリエンテーション	15	金	15	日	15	水	15	土	15	土
16	水 1年:月曜授業 2年:臨地実習オリエンテーション	16	土	16	月 3年:後期定期試験Ⅰ	16	木	16	日	16	日
17	木 2年:臨地実習オリエンテーション	17	日	17	火 3年:後期定期試験Ⅰ	17	金 3年:後期追・再試験	17	月 1年:後期定期試験	17	月
18	金 2年:臨地実習オリエンテーション	18	月	18	水	18	土	18	火 1年:後期定期試験	18	火
19	土 体育祭	19	火	19	木	19	日	19	水 1年:後期定期試験	19	水
20	日	20	水	20	金	20	月 3年:後期追・再試験	20	木 1年:後期定期試験	20	木 春分の日
21	月 2年:臨地実習オリエンテーション	21	木	21	土	21	火 3年:後期追・再試験	21	金 1年:後期定期試験	21	金
22	火 2年:臨地実習オリエンテーション	22	金	22	日	22	水	22	土	22	土
23	水	23	土 勤労感謝の日	23	月 1・2・3年:冬季休業	23	木	23	日 天皇誕生日	23	日
24	木	24	日	24	火 1・2・3年:冬季休業	24	金	24	月 振替休日	24	月
25	金	25	月	25	水 1・2・3年:冬季休業	25	土	25	火 1年:後期追・再試験・補習	25	火
26	土	26	火	26	木 1・2・3年:冬季休業	26	日	26	水 1年:後期追・再試験・補習	26	水
27	日	27	水	27	金 1・2・3年:冬季休業	27	月	27	木	27	木
28	月	28	木	28	土 1・2・3年:冬季休業	28	火	28	金 1年:後期追・再試験・補習	28	金
29	火	29	金 ・HBワクチン接種 (3回目)	29	日 1・2・3年:冬季休業	29	水 創立記念日			29	土
30	水	30	土	30	月 1・2・3年:冬季休業	30	木			30	日
31	木			31	火 1・2・3年:冬季休業	31	金			31	月

科目名			担当教員		
歯科予防処置論 I			竹岡亜紀 〔授業補助〕三村杏奈、高山きよ江、中島香奈子、島田陽子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前・後期	4	120	実習	○
授業の目的(GIO)		口腔疾患予防に対応した口腔健康管理の基礎を学び、口腔の健康維持・増進に必要な知識や技術について理解し、専門的処置を行うための基礎項目を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験の結果および課題の提出状況と内容を評価する。出席状況と授業態度も評価に加味する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：竹岡亜紀			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、歯および口腔疾患の予防と、口腔の健康の維持・増進を目的とした専門的処置を実践するために必要な基礎知識と技術を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/10-3 限	インスツルメント 1	1. 実習用器具の名称・用途 2. 取扱いの注意事項・破損の確認法 3. 器具の収納法	1. 使用頻度の高いハンドインスツルメントの名称と用途を説明できる。 2. 取扱いの注意事項を説明できる。	竹岡
	B 4/10-2 限				竹岡
2	A 4/16-2 限	インスツルメント 2	1. インスツルメントの形態・特徴 2. 把持法の種類と利点・欠点	1. 使用部位や用途別にインスツルメントの特徴を説明できる。 2. 把持法とその利点・欠点を説明できる。	竹岡
	B 4/16-3 限				竹岡
3	A 4/17-3 限	歯科予防処置論概説	1. 歯科衛生士の業務内容 2. 歯科予防処置の種類・目的	1. 歯科衛生士が行う主な業務を列挙できる。 2. 歯科予防業務の定義を説明できる。 3. 歯科予防処置を目的別に分類し説明できる。	竹岡
	B 4/17-2 限				竹岡
4	A 4/23-2 限	基礎知識 1	1. 歯周組織 2. 口腔組織の健康像	1. 歯周組織の名称を列挙できる。 2. 口腔組織の特徴を説明できる。	竹岡
	B 4/23-3 限				竹岡
5	A 4/24-3 限	基礎知識 2	1. 歯面付着物・沈着物の分類 2. 歯面付着物・沈着物の特徴 3. プラークの分類・特徴	1. 歯面付着物・沈着物を列挙できる。 2. 歯面付着物・沈着物の特徴を説明できる。 3. プラークの分類・特徴を説明できる。	竹岡
	B 4/24-2 限				竹岡
6	A 4/30-2 限	基礎知識 3	1. 歯石の分類・特徴 2. 歯周疾患の分類・特徴	1. 歯石の分類・特徴を説明できる。 2. 歯周疾患の分類・特徴を説明できる。	竹岡
	B 4/30-3 限				竹岡
7	A 5/1-3 限	基礎知識 4	1. ポケットの分類・特徴 2. 歯周疾患の全身的因子 3. 歯周疾患の局所的因子	1. ポケットの分類・特徴を説明できる。 2. 歯周疾患の全身的因子・局所的因子を列挙できる。	竹岡
	B 5/1-2 限				竹岡
8	A 5/7-2 限	基礎知識 5	1. プラーク増加因子 2. 歯周疾患の進行 3. 基礎項目の問題演習	1. プラーク増加因子を列挙できる。 2. 歯周組織の病的変化を説明できる。 3. 歯科予防処置の基礎項目を理解できる。	竹岡
	B 5/7-3 限				竹岡
9	A 5/14-2 限	プロービング 1	1. プローブの使用目的 2. プローブの種類・特徴①	1. プローブの使用目的を説明できる。 2. プローブの種類を列挙できる。	竹岡
	B 5/14-3 限				竹岡
10	A 5/15-3 限	プロービング 2	1. プローブの種類・特徴② 2. プローブの把持法 3. プローブ操作の原則	1. プローブの特徴を説明できる。 2. プローブの把持法を説明できる。 3. 操作の原則を説明できる。	竹岡
	B 5/15-2 限				竹岡
11	A 5/21-2 限	プロービング 3	1. 測定部位と操作時の注意 2. プロービング値の記入法 3. ポケット測定実習(顎模型)	1. 操作の注意事項を説明できる。 2. 原則を守りポケットを測定できる。 3. 測定値を正しく記録できる。	竹岡
	B 5/21-3 限				竹岡

12	A 5/22-3 限	プロービング 4	1. ポケット測定実習(口腔内) 2. 付着歯肉幅測定実習(口腔内)	1. 原則を守りポケットを測定できる。 2. 付着歯肉幅を測定できる。 3. 測定値を正しく記録できる。	竹岡
	B 5/22-2 限				竹岡
13	A 5/28-2 限	手用スクレーパー	1. 手用スクレーパーの種類・特徴 2. 手用スクレーパーの使用目的	1. 手用スクレーパーの種類を列挙できる。 2. 手用スクレーパーの特徴と使用目的を説明できる。	竹岡
	B 5/28-3 限				竹岡
14	A 5/29-3 限	鎌型スクレーパー 1	1. 鎌型スクレーパーの使用目的 2. 鎌型スクレーパーの種類・特徴	1. 鎌型スクレーパーの使用目的を説明できる。 2. 鎌型スクレーパーの種類・特徴を説明できる。	竹岡
	B 5/29-2 限				竹岡
15	A 6/4-2 限	鎌型スクレーパー 2	1. 鎌型スクレーパーの把持・操作法 2. 操作時の注意・原則	1. 鎌型スクレーパーの把持・操作法を説明できる。 2. 操作の注意事項と4原則を説明できる。	竹岡
	B 6/4-3 限				竹岡
16	A 6/5-3 限	鎌型スクレーパー 模型実習説明	1. ポジション・姿勢 2. 把持・固定法 3. 手腕の動き 4. 机上練習	1. 部位に適したポジション・姿勢を説明できる。 2. 把持・固定法を説明できる。 3. 手腕の動きを説明できる。 4. 手用スクレーパーの基本操作を説明できる。	竹岡
	B 6/5-2 限				竹岡
17	A 6/11-2 限	鎌型スクレーパー 模型実習 1	1. マネキンへの模型装着法 2. 前腕回転運動①(左半分)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。	竹岡
	B 6/11-3 限				竹岡
18	A 6/12-3 限	鎌型スクレーパー 模型実習 2	前腕回転運動②(左半分)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。	竹岡
	B 6/12-2 限				竹岡
19	A 6/18-2 限	鎌型スクレーパー 模型実習 3	1. 前腕回転運動③(左半分) 2. 前腕回転運動④(右半分)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。 3. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 6/18-3 限				竹岡
20	A 6/19-3 限	鎌型スクレーパー 模型実習 4	1. 前腕回転運動⑤(左半分) 2. 前腕回転運動⑥(右半分)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。 3. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 6/19-2 限				竹岡
21	A 6/25-2 限	鎌型スクレーパー 模型実習 5	手指屈伸運動①	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。 3. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 6/25-3 限				竹岡
22	A 6/26-3 限	鎌型スクレーパー 模型実習 6	手指屈伸運動②	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。 3. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 6/26-2 限				竹岡
23	A 7/2-2 限	鎌型スクレーパー 模型実習 7	手指屈伸運動③	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。 3. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 7/2-3 限				竹岡
24	A 7/3-3 限	鎌型スクレーパー 模型実習 8	1. 手指屈伸運動④ 2. 手根関節運動(動きの確認)	1. 部位に適したポジションを設定できる。 2. 指定部位のスクレーパー操作ができる。 3. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 7/3-2 限				竹岡
25	A 7/9-2 限	鋭匙型スクレーパー 1	1. 鋭匙型スクレーパーの使用目的 2. 鋭匙型スクレーパーの種類・特徴①	1. 鋭匙型スクレーパーの使用目的を説明できる。 2. 鋭匙型スクレーパーの種類を列挙できる。	竹岡
	B 7/9-3 限				竹岡
26	A 7/10-3 限	鋭匙型スクレーパー 2	1. 鋭匙型スクレーパーの種類・特徴② 2. 鋭匙型スクレーパーの把持・操作法 3. 操作時の注意	1. 鋭匙型スクレーパーの種類・特徴を説明できる。 2. 鋭匙型スクレーパーの把持法・操作法を説明できる。 3. 操作の注意事項を説明できる。	竹岡
	B 7/10-2 限				竹岡
27	A 7/16-2 限	マネキン実習説明 1	1. 基本姿勢、ポジション 2. 探針操作、ミラー操作 ・使用目的 ・操作時の注意	1. 基本姿勢とポジションを説明できる。 2. 探針の使用目的を説明できる。 3. 探針操作の注意事項を説明できる。 4. ミラーの使用目的を説明できる。 5. ミラー操作の注意事項を説明できる。	竹岡
	B 7/16-3 限				竹岡

28	A 8/21-3 限	マネキン実習説明 2	1. マネキンの取り扱い 2. 探針操作、ミラー操作 3. 操作表作成(宿題)	1. 適切にマネキンを取り扱うことができる。 2. ミラー視により探針を操作できる。 3. 鋭匙型スケーラーの操作表を作成できる。	竹岡
	B 8/21-2 限				竹岡
29	A 8/27-2 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 1	スケーリング実習① (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 8/27-3 限				竹岡
30	A 8/28-3 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 2	スケーリング実習② (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 8/28-2 限				竹岡
31	A 9/30-1 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 3	スケーリング実習③ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 9/30-3 限				竹岡
32	A 10/1-3 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 4	スケーリング実習④ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/1-1 限				竹岡
33	A 10/7-1 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 5	スケーリング実習⑤ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/7-3 限				竹岡
34	A 10/8-3 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 6	スケーリング実習⑥ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/8-1 限				竹岡
35	A 10/15-3 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 7	スケーリング実習⑦ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/15-1 限				竹岡
36	A 10/16-1 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 8	スケーリング実習⑧ (操作表より部位・運動指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/16-3 限				竹岡
37	A 10/21-1 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 9	スケーリング実習⑨ (指定の順序で全顎スケーリング)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/21-3 限				竹岡
38	A 10/22-3 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 10	スケーリング実習⑩ (各自前回の続き)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/22-1 限				竹岡
39	A 10/28-1 限	鋭匙型スケーラー — マネキン実習 11	スケーリング実習⑪ (各自前回の続き)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/28-3 限				竹岡
40	A 10/29-3 限	鎌型スケーラー — マネキン実習 (復習)1	スケーリング実習①	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 10/29-1 限				竹岡

41	A 11/5-3 限	鎌型スケーラー マネキン実習 (復習)2	スケーリング実習②	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
	B 11/5-1 限				竹岡
42	A 11/8-1 限	鎌型スケーラー 鋭匙型スケーラー	スケーリング実技試験① (部位指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。 6. 各段階で作業状況の報告ができる。	竹岡
	B 11/8-3 限	実技試験 1			竹岡
43	A 11/11-1 限	鎌型スケーラー 鋭匙型スケーラー	スケーリング実技試験② (部位指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。 6. 各段階で作業状況の報告ができる。	竹岡
	B 11/11-3 限	実技試験 2			竹岡
44	A 11/12-3 限	鎌型スケーラー 鋭匙型スケーラー	スケーリング実技試験③ (部位指定)	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 指定部位のスケーラー操作ができる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。 6. 各段階で作業状況の報告ができる。	竹岡
	B 11/12-1 限	実技試験 3			竹岡
45	A 11/18-1 限	超音波スケーラー -1	1. 使用目的 2. 原理と構造 3. 利点・欠点	1. 超音波スケーラーの使用目的を説明できる。 2. 原理と構造を説明できる。 3. 手用スケーラーと比較して利点・欠点を説明できる。	竹岡
	B 11/18-3 限				竹岡
46	A 11/19-3 限	超音波スケーラー -2	1. 適応症・禁忌症 2. 超音波スケーラーの操作法 3. 操作時の注意	1. 適応症・禁忌症を列挙できる。 2. 操作の注意事項を説明できる。	竹岡
	B 11/19-1 限				竹岡
47	A 11/25-1 限	超音波スケーラー -3	1. 操作法復習 2. 模型実習	1. 模型実習の準備ができる。 2. 原則を守り操作できる。	竹岡
	B 11/25-3 限				竹岡
48	A 11/26-3 限	歯面研磨 1	1. 歯面研磨の目的 2. 歯面研磨器具の種類・特徴 3. 歯面研磨剤の使用目的 4. 歯面研磨剤の所要条件	1. 歯面研磨の目的を説明できる。 2. 歯面研磨器具の種類・特徴を説明できる。 3. 研磨剤の使用目的を説明できる。 4. 研磨剤の所要条件を説明できる。	竹岡
	B 11/26-1 限				竹岡
49	A 12/2-1 限	歯面研磨 2 (PMTC)	1. PMTC の定義・位置づけ 2. PMTC の目的・効果 3. PMTC の基本術式	1. PMTC の定義を説明できる。 2. PMTC の目的・効果を説明できる。 3. PMTC の術式を説明できる。	竹岡
	B 12/2-3 限				竹岡
50	A 12/3-3 限	歯面研磨 3・4	1. 歯面研磨器具の操作法 2. 操作時の注意 3. 模型実習	1. アタッチメント別に操作法を説明できる。 2. 操作の注意事項を説明できる。 3. 模型実習の準備ができる。 4. 原則を守り操作できる。	竹岡
	B 12/3-1 限				竹岡
51	A 12/9-1 限				竹岡
	B 12/9-3 限				竹岡
52	A 12/10-3 限	う蝕予防法 1	1. う蝕予防処置の種類 ・フッ化物歯面塗布法 ・小窩裂溝填塞法 ・フッ化ジアンミン銀塗布法 2. フッ化物歯面塗布法① ・フッ化物の応用法 ・塗布用フッ化物製剤の種類・濃度	1. う蝕予防処置法の種類を列挙できる。 2. フッ化物の応用法を説明できる。 3. フッ化物製剤の種類と濃度を説明できる。	竹岡
	B 12/10-1 限				竹岡
53	A 12/16-1 限	う蝕予防法 2	フッ化物歯面塗布法② ・作用機序 ・安全性への配慮 ・術式	1. 塗布用フッ化物の作用機序を説明できる。 2. フッ化物の毒性と急性中毒への対応を説明できる。 3. フッ化物歯面塗布法(ゲル使用)の術式を説明できる。	竹岡
	B 12/16-3 限				竹岡
54	A 12/17-3 限	う蝕予防法 3	小窩裂溝填塞法① ・填塞材の種類 ・目的・適応	1. 填塞材の種類を列挙できる。 2. 小窩裂溝填塞の目的・適応を説明できる。	竹岡
	B 12/17-1 限				竹岡

55	A 1/20-1 限	う蝕予防法 4	1. 小窩裂溝填塞法② ・術式 ・取扱いの注意事項 2. フッ化ジアンミン銀塗布法 ・目的・適応 ・性状・特徴 ・取扱いの注意事項	1. 小窩裂溝填塞の術式を説明できる。 2. 填塞の注意事項を説明できる。 3. フッ化ジアンミン銀塗布の目的・適応を説明できる。 4. 溶液の性状・特徴を説明できる。 5. 取扱いの注意事項と汚染時の対応を説明できる。	竹岡
	B 1/20-3 限				竹岡
56	A 1/21-3 限	う蝕予防法 5 う蝕活動性試験 1	1. フッ化物洗口法 ・応用法 ・洗口剤の種類・濃度 2. う蝕活動性試験 ・目的・特徴 ・試験の種類・検体	1. フッ化物洗口の応用法を説明できる。 2. 洗口剤の種類と濃度を列挙できる。 3. う蝕活動性試験の目的・特徴を説明できる。 4. う蝕活動性試験の種類と検体を列挙できる。	竹岡
	B 1/21-1 限				竹岡
57	A 1/27-1 限	相互実習説明 1	1. 使用器材の名称・用途 2. 清潔器材の取扱い① 3. 実習の注意事項①	1. 使用器材の名称・用途を説明できる。 2. 器材の取扱い方法と注意事項を説明できる。 3. 環境整備、安全配慮の重要性を理解できる。	竹岡
	B 1/27-3 限				竹岡
58	A 1/28-3 限	相互実習説明 2	1. 実習の目的・心構え 2. 実習の注意事項② 3. 歯垢染色法 4. 問診法①	1. 相互実習の目的を理解できる。 2. 環境整備、安全配慮の重要性を理解できる。 3. 歯垢染色の手順と注意事項を説明できる。 4. 問診内容と目的を理解できる。	竹岡
	B 1/28-1 限				竹岡
59	A 2/3-1 限	相互実習説明 3	1. 器材セッティング・誘導 2. 清潔器材の取扱い②	1. 器材セッティング・誘導の手順を説明できる。 2. 器材の取扱い方法と注意事項を説明できる。	竹岡
	B 2/3-3 限				竹岡
60	A 2/4-3 限	相互実習説明 4	1. 実習記録作成法 ・実施事項 ・口腔内所見 2. 問診法②	1. 記録作成の意義・目的を理解できる。 2. 実習記録の記載法を理解できる。 3. 聞き取りによる問診を実施できる。	竹岡
	B 2/4-1 限				竹岡

科目名			担当教員		
歯科保健指導論 I			三村杏奈、島田陽子 〔授業補助〕竹岡亜紀、高山きよ江、中島香奈子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前・後期	2	60	演習	○
授業の目的 (GIO)		口腔保健の基礎を理解するために、口腔内に関心を持ち、歯科衛生士として必要な基礎項目を習得しながら、歯科保健指導に求められる知識を理解し、技術を体得する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修： 歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』（医歯薬出版）			
成績評価		定期試験、実技試験および課題の提出状況・結果を評価対象とする。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士：三村杏奈、島田陽子			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として歯科診療所勤務経験のある教員が、臨床での応用を見据えプラークコントロールの技術と歯科保健指導法の基本を教育する。 歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、口腔に関心を持ち、口腔保健の基礎と他教科とのつながりを理解できるよう歯科衛生過程の基本を教育する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/15-1 限	概論	歯科保健指導の概要	1. 授業の進めかたおよび注意事項を理解できる。 2. 歯科衛生士の定義を説明できる。 3. 歯科保健指導の定義を説明できる。 4. 健康の概念について説明できる。	島田
	B 4/15-3 限				島田
2	A 4/22-1 限	口腔清掃自習法 1	1. 歯の付着物・沈着物 2. 口腔内観察	1. 歯の付着物・沈着物の種類を列挙できる。 2. 自分自身の口腔内状態を観察できる。 3. 使用器材を適切に扱うことができる。	島田
	B 4/22-3 限				島田
3	A 5/8-1 限	口腔清掃自習法 2	1. 歯垢染色剤 2. 口腔清掃自習法	1. 歯垢染色剤の種類と所要条件を説明できる。 2. 歯垢の染色方法を説明できる。 3. 歯垢を識別できる。 4. 自分自身のブラッシング方法を工夫できる。	島田
	B 5/8-3 限				島田
4	A 5/13-1 限	口腔ケア用品 1	歯ブラシ	1. 歯ブラシの形態を説明できる。 2. 歯ブラシの保管と管理について説明できる。 3. 歯ブラシの交換時期を説明できる。	島田
	B 5/13-3 限				島田
5	A 5/20-1 限	ブラッシング法 1	1. 歯ブラシの基本操作 2. 毛先を用いるブラッシング法	1. 歯ブラシの持ち方を説明できる。 2. 各種ブラッシング法を列挙できる。 3. 操作法、適応、特徴を説明できる。 4. 模型上で正しく操作できる。	三村
	B 5/20-3 限				三村
6	A 5/27-1 限	ブラッシング法 2	1. わき腹を用いるブラッシング法 2. 症例に合わせたブラッシング法	5. 口腔全体を磨く順番を説明できる。 6. 適切なブラッシング圧を説明できる。	三村
	B 5/27-3 限				三村
7	A 6/3-1 限	ブラッシング法 3	操作実習	1. 口腔内で各種ブラッシング法を実践できる。 2. 自分自身のブラッシング圧を改善できる。	三村
	B 6/3-3 限				三村
8	A 6/10-1 限	口腔ケア用品 2	1. 歯ブラシ以外の清掃用具 2. デンタルフロス	1. 歯ブラシ以外の清掃用具を列挙できる。 2. 歯ブラシ以外の清掃用具の使用方法を説明できる。 3. デンタルフロスの使用目的を説明できる。 4. デンタルフロスの使用方法を説明できる。 5. 模型上および口腔内で操作できる。	三村
	B 6/10-3 限				三村
9	A 6/18-1 限	口腔ケア用品 3	1. 歯間ブラシ 2. タフトブラシ	1. 歯間ブラシの選択方法を説明できる。 2. 歯間ブラシの適応部位を説明できる。 3. 歯間ブラシの使用方法を説明できる。 4. タフトブラシの適応部位を説明できる。 5. タフトブラシの使用方法を説明できる。 6. 為害作用を述べることができる。	三村
	B 6/18-2 限				三村

10	A 6/24-1 限	口腔ケア用品 4	操作実習	<ol style="list-style-type: none"> スクラビング法を口腔内で実践できる。 デンタルフロスを口腔内で操作できる。 タフトブラシを口腔内で操作できる。 歯間ブラシを口腔内で操作できる。 各種歯間ブラシを比較し、特徴を述べることができる。 	三村
	B 6/24-3 限				三村
11	A 7/8-1 限	ブラッシング法 4	ブラッシングの利点・欠点	<ol style="list-style-type: none"> グループワークの流れを理解できる。 グループワークの手法を用いて利点・欠点をまとめ、発表できる。 	島田
	B 7/8-3 限				島田
12	A 7/17-1 限	ブラッシング法 5	ブラッシングの為害作用	<ol style="list-style-type: none"> ブラッシングの目的を説明できる。 為害作用の分類と特徴を説明できる。 	島田
	B 7/17-3 限				島田
13	A 8/26-1 限	歯磨剤 1	グループワーク	<ol style="list-style-type: none"> 選択した歯磨剤の特徴を述べることができる。 各種製品の特徴を観察できる。 	島田
	B 8/27-2 限				島田
14	A 8/29-1 限	歯磨剤 2	歯磨剤・洗口液	<ol style="list-style-type: none"> 法律上の分類を説明できる。 成分とその作用を説明できる。 基本的な使用法を説明できる。 	島田
	B 8/29-1 限				島田
15	A 9/2-1 限	歯磨剤 3			島田
	B 9/2-3 限				島田
16	A 10/2-1 限	口腔清掃状態の評価 1	PCR	<ol style="list-style-type: none"> 数値化の目的を述べることができる。 PCRの対象歯・判定基準を説明できる。 PCRを算定できる。 PCRの目標値を説明できる。 	島田
	B 10/2-2 限				島田
17	A 10/9-1 限	口腔清掃状態の評価 2	<ol style="list-style-type: none"> OHI OHI-S 	<ol style="list-style-type: none"> OHIの対象歯・判定基準を説明できる。 OHI-Sの対象歯を説明できる。 OHI、OHI-Sを算定できる。 	島田
	B 10/9-2 限				島田
18	A 10/23-1 限	口腔清掃状態の評価 3	<ol style="list-style-type: none"> PII PHP 	<ol style="list-style-type: none"> PIIの対象歯・判定基準を説明できる。 各被検歯のPII・個人のPIIを算定できる。 PHPの対象歯・判定基準を説明できる。 PHPを算定できる。 	島田
	B 10/23-2 限				島田
19	A 10/30-1 限	対象把握 1	グループワーク	<ol style="list-style-type: none"> 歯科保健指導に必要な患者情報をグループワークで列挙できる。 	島田
	B 10/30-2 限				島田
20	A 11/6-1 限	対象把握 2	患者からの情報収集	<ol style="list-style-type: none"> 情報収集の目的を述べることができる。 情報収集の項目を列挙できる。 口腔内観察の検査項目を列挙できる。 	島田
	B 11/6-2 限				島田
21	A 11/13-1 限	対象把握 3	情報の管理	<ol style="list-style-type: none"> 歯科衛生士に求められる倫理観を列挙できる。 守秘義務について述べることができる。 	島田
	B 11/13-2 限				島田
22	A 11/20-1 限	医療面接 1	医療面接	<ol style="list-style-type: none"> 医療面接の目的を説明できる。 医療面接がもたらす効果を列挙できる。 	島田
	B 11/20-2 限				島田
23	A 11/27-1 限	医療面接 2	コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> コミュニケーションの成立要件を列挙できる。 言語的コミュニケーションを効果的に行うための技法を説明できる。 「話す・聴く」態度が相手に与える印象を考察できる。 話し方・聴き方を工夫できる。 	島田
	B 11/27-2 限				島田
24	A 12/4-1 限	保健行動支援	保健行動支援のための基礎知識	<ol style="list-style-type: none"> 歯科保健指導に関わる理論と行動変容を説明できる。 行動変容ステージを説明できる。 動機付け面接を説明できる。 	島田
	B 12/4-2 限				島田
25	A 12/11-1 限	動機付け	動機付け	<ol style="list-style-type: none"> 動機付けの意味を説明できる。 動機付けの導入方法を列挙できる。 	島田
	B 12/11-2 限				島田

26	A 12/18-1 限	口腔清掃指導法 1	媒体の応用	<ol style="list-style-type: none"> 1. 媒体の種類を列挙できる。 2. 媒体の特徴を説明できる。 3. 媒体の効果を説明できる。 4. TBIの定義を述べることができる。 5. 伝達の方法、話の組み立てを説明できる 6. 対話時における留意点を説明できる。 7. 対話に適したポジションを説明できる。 	三村
	B 12/18-2 限				三村
27	A 1/8-1 限	口腔清掃指導法 2	口腔清掃指導実習① ポジションの理解 媒体の使用法 スクラビング法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話時における話法を工夫できる。 2. 対話時に適したポジションを工夫できる。 3. スクラビング法を説明できる。 	三村
	B 1/8-2 限				三村
28	A 1/15-1 限	口腔清掃指導法 3	口腔清掃指導実習②-1 スクラビング法 デンタルフロス	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話時に適したポジションを工夫できる。 2. コミュニケーションを工夫し、対話できる。 3. 対話時における環境に配慮できる。 4. 媒体を応用した指導法を工夫できる。 5. スクラビング法をわかりやすく説明できる。 6. 部位に応じた媒体の見せ方を工夫できる。 7. デンタルフロス・指巻き法をわかりやすく説明できる。 8. 患者のブラッシングおよびフロッシング技術を評価できる。 9. グループで各々の課題および改善策を検討できる。 	三村
	B 1/15-2 限				三村
29	A 1/22-1 限	口腔清掃指導法 4	口腔清掃指導実習②-2 スクラビング法 デンタルフロス	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話時に適したポジションを工夫できる。 2. コミュニケーションを工夫し、対話できる。 3. 対話時における環境に配慮できる。 4. 媒体を応用した指導法を工夫できる。 5. スクラビング法をわかりやすく説明できる。 6. 部位に応じた媒体の見せ方を工夫できる。 7. デンタルフロス・指巻き法をわかりやすく説明できる。 8. 患者のブラッシングおよびフロッシング技術を評価できる。 9. グループで各々の課題および改善策を検討できる。 	三村
	B 1/22-2 限				三村
30	A 2/5-1 限	口腔清掃指導法 5	口腔清掃指導実習②-3 スクラビング法 デンタルフロス	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対話時に適したポジションを工夫できる。 2. コミュニケーションを工夫し、対話できる。 3. 対話時における環境に配慮できる。 4. 媒体を応用した指導法を工夫できる。 5. スクラビング法をわかりやすく説明できる。 6. 部位に応じた媒体の見せ方を工夫できる。 7. デンタルフロス・指巻き法をわかりやすく説明できる。 8. 患者のブラッシングおよびフロッシング技術を評価できる。 9. グループで各々の課題および改善策を検討できる。 	三村
	B 2/5-2 限				三村

科目名			担当教員		
歯科診療補助論 I			三村杏奈、高山きよ江、黒岩昭弘 〔授業補助〕竹岡亜紀、中島香奈子、島田陽子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前・後期	4	120	実習	○
授業の目的(GIO)		歯科診療に対する関心を持ち、各項目に対する知識・技術を習得する。また、チーム医療における共同動作の意義を理解し、知識・技術についても習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ:『歯科診療補助論』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ:『歯科機器』(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ:『歯科材料』(医歯薬出版) 歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック (クインテッセンス出版)			
成績評価		定期試験・実技試験、授業態度、課題の提出、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士:三村杏奈、高山きよ江 歯科医師:黒岩昭弘			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として実務経験のある教員が、医療職として基本となる身だしなみや感染予防対策、歯科材料の知識と取り扱い方法を教え、臨床で多用される歯科材料の取り扱いと歯科医師と共同して歯科治療を行うための技術と態度を身に付けさせる。 歯科医師として病院勤務している教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持ち主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/10-2 限	概説	歯科診療補助における歯科衛生士の役割	1. 歯科衛生士の業務について概説できる。 2. 補助と介助の違いを述べることができる。 3. 法的責任について述べることができる。 4. 基礎実習に対する心構えをもつことができる。 5. 診療補助における歯科衛生士の役割を列挙できる。	三村
	B 4/10-1 限				三村
2	A 4/16-1 限	歯科材料の基礎知識	1. 歯科材料と歯科衛生士 2. 所要性質と基本的性質	1. 歯科衛生士になぜ歯科材料の知識が必要かを理解する。 2. 歯科材料の基本的性質について理解する。	黒岩
	B 4/16-2 限				黒岩
3	A 4/17-2 限	器材拭きガーゼ作製	1. 身だしなみ 2. 実習に必要な器材拭きガーゼの作製	1. 身だしなみを整え、実習に臨むことができる。 2. 器材拭きを指示通りに作製することができる。 3. 協力し、助け合いながら作製できる。	三村
	B 4/17-1 限				三村
4	A 4/23-1 限	感染予防 1	1. 感染症と感染予防対策 2. 手指衛生(手指消毒)	1. 感染と感染症の違いを説明できる。 2. 感染予防の3原則を説明できる。 3. 手指衛生の目的を説明できる。 4. 手指衛生の分類を説明できる。 5. 手指衛生の手順を説明できる。 6. 手指衛生を実施できる。 7. 手指衛生の問題点を考察できる。	高山
	B 4/23-2 限				高山
5	A 4/24-2 限	衛生材料 1	ロールワッテ・洗浄用綿球作製	1. 衛生材料について説明できる。 2. 用途、種類について説明できる。 3. 作製方法について説明できる。 4. 作製技術を習得できる。	三村
	B 4/24-1 限				三村
6	A 4/30-1 限	衛生材料 2	塗布用綿球・拭掃用綿球作製	1. 衛生材料について説明できる。 2. 用途、種類について説明できる。 3. 作製方法について説明できる。 4. 作製技術を習得できる。	三村
	B 4/30-2 限				三村
7	A 5/1-2 限	綿 栓	ブローチ綿栓	1. 歯の構造とう蝕の程度について説明できる。 2. ブローチの構造について説明できる。 3. ブローチの用途について説明できる。 4. 作製技術を習得できる。	三村
	B 5/1-1 限				三村
8	A 5/7-1 限	印象材総論	1. はじめに 2. 印象材の種類と用途 3. 印象材の一般的性質	1. 歯科臨床における印象採得の目的を説明できる。 2. 印象材の分類を説明できる。 3. 印象材の種類を説明できる。 4. 印象採得時の印象材の変形の重要性を説明できる。	黒岩
	B 5/7-2 限				黒岩
9	A 5/14-1 限	印象材各論 1	ハイドロコロイド系印象材 1. アルジネート印象材 2. 寒天印象材	アルジネート印象材、寒天印象材の組成と特徴を理解する。 1. 基本的性質を説明できる。 2. 用途を説明できる。 3. 組成を説明できる。 4. 硬化時間を説明できる。 5. 特徴を説明できる。 6. テクニコールボンド®について説明できる。	黒岩
	B 5/14-2 限				黒岩

10	A 5/15-2 限	アルジネート印象材 1	1. 概形印象採得の基礎知識 2. 実習 1) スパチュラ、ラバーボウルの把持 2) スパチュラの操作 3) 計量	1. 練和に必要な器材を列挙できる。 2. 採得方法と手順を説明できる。 3. 印象採得時の嘔吐反射に対する対策を説明できる。 4. 印象面の処理方法について説明できる。 5. スパチュラとラバーボウルを正しく把持できる。 6. ラバーボウルの内面とスパチュラの彎曲を合わせてスパチュラを操作できる。 7. 粉末と水を手順通りに計量できる。 8. 練和器具を清掃できる。	三村
	B 5/15-1 限				三村
11	A 5/21-1 限	アルジネート印象材 2	1. 練和操作	1. アルジネート印象材の練和操作ができる。 2. 練和器具を清掃できる。	三村
	B 5/21-2 限				三村
12	A 5/22-2 限	アルジネート印象材 3	1. 練和 2. 気泡抜き	1. アルジネート印象材を練和できる。 2. 練和から気泡抜きまで実施できる。	三村
	B 5/22-1 限				三村
13	A 5/28-1 限	アルジネート印象材 4	1. 練和(2杯) 2. トレーへの盛り付け方法	1. 練和技術の向上ができる。 2. 設定時間内に練和できる。 3. トレーの保管、管理について説明できる。 4. トレーへの盛り付け方法を説明できる。	三村
	B 5/28-2 限				三村
14	A 5/29-2 限	アルジネート印象材 5	1. 回転トレーへの盛り付け 2. 上顎トレーへの盛り付け 3. 下顎トレーへの盛り付け	1. 回転トレーへ盛り付けることができる。 2. 上顎トレーへ盛り付けることができる。 3. 下顎トレーへ盛り付けることができる。 4. 練和技術の向上ができる。	三村
	B 5/29-1 限				三村
15	A 6/4-1 限	寒天印象材 1	寒天印象材の取り扱い	1. 寒天印象材の種類を列挙できる。 2. 寒天印象材の性質を説明できる。 3. 寒天印象材の取り扱い方法を説明できる。 4. 寒天コンディショナーと水冷式トレーの取り扱い方法を説明できる。	三村
	B 6/4-2 限				三村
16	A 6/5-2 限	寒天印象材 2	寒天・アルジネート連合印象採得	1. 寒天・アルジネート印象採得における使用器材を準備できる。 2. 採得手順、方法を説明できる。 3. 顎模型上で連合印象採得ができる。 4. 器具やトレーの受け渡しができる。 5. 印象体を評価できる。	三村
	B 6/5-1 限				三村
17	A 6/11-1 限	模型材 石膏 1	1. 石膏模型材 2. 実習	1. 取扱い方法と注意点を説明できる。 2. 必要器材を列挙できる。 3. 練和ができる。 4. 石膏の反応熱を確認できる。	三村
	B 6/11-2 限				三村
18	A 6/12-2 限	模型材	模型用石膏	模型用石膏の硬化反応と特性について理解する。 1. 石膏の種類を説明できる。 2. 石膏の用途を説明できる。 3. 石膏の一般的性質を説明できる。	黒岩
	B 6/12-1 限				黒岩
19	A 6/17-1 限	模型材 石膏 2	1. 石膏模型作製 2. 石膏模型の評価	1. 石膏模型作製の必要器材を準備できる。 2. 石膏模型作製の手順と注意点を説明できる。 3. 印象へ石膏を注入できる。 4. 作製した石膏模型を評価できる。	三村
	B 6/17-2 限				三村
20	A 6/19-2 限	アルジネート印象材 6	概形印象採得 (顎模型)	1. 概形印象採得の方法と手順を説明できる。 2. アルジネート印象採得における使用器材を準備できる。 3. 顎模型上で印象採得の手順に沿って概形印象採得ができる。 4. 印象採得の手順に沿って介助できる。 5. 印象体を評価できる。	三村
	B 6/19-1 限				三村
21	A 6/25-1 限	印象材 各論 2	ゴム質印象材 1. シリコンゴム印象材 1) 縮合型 2) 付加型 2. ポリエーテルゴム印象材 3. ポリサルファイドゴム印象材	ゴム質印象材の組成と特徴を理解する。 1. 合成ゴム質印象材の種類を列挙できる。 2. 稠度による分類を説明できる。 3. 重合反応の種類を説明できる。 4. 組成を説明できる。 5. 硬化機構を説明できる。 6. 特徴を説明できる。 7. 用途を説明できる。	黒岩
	B 6/25-2 限				黒岩
22	A 6/26-2 限	合成ゴム質 印象材 1	1. 付加型シリコンゴム印象材(パテタイプ) 2. 積層2回連合印象法(1次印象)	1. パテタイプの用途を説明できる。 2. パテタイプのねつ和ができる。 3. 連合印象法の目的を説明できる。 4. 顎模型上で積層2回連合印象(1次印象)ができる。	三村
	B 6/26-1 限				三村

23	A 7/2-1 限	合成ゴム質 印象材 2	付加型シリコーンゴム 印象材 (インジェクションタイプ)	1. 必要器材を列挙できる。 2. 器具・器材を正しく操作できる。 3. インジェクションタイプを練和できる。 4. 硬化時間の調整ができる。	三村
	B 7/2-2 限				三村
24	A 7/3-2 限	合成ゴム質 印象材 3	1. メタル製シリンジの取り扱い 2. 積層2回連合印象法 (2次印象)	1. 印象用シリンジの目的を説明できる。 2. メタル製シリンジの取り扱いを説明できる。 3. メタル製シリンジの分解・組み立てができる。 4. メタル製シリンジへの填入ができる。 5. メタル製シリンジの清掃ができる。 6. 2次印象の必要器材を列挙できる。 7. 顎模型上で積層2回連合印象(2次印象)ができる。	三村
	B 7/3-1 限				三村
25	A 7/9-1 限	合成ゴム質 印象材 4	1. 付加型シリコーンゴム印象材(レギュラータイプ) 2. プラスチック製シリンジの取り扱い	1. プラスチック製シリンジの取り扱いを説明できる。 2. レギュラータイプを練和できる。 3. プラスチック製シリンジへの填入ができる。	三村
	B 7/9-2 限				三村
26	A 7/10-2 限	合成ゴム質 印象材 5	1. カートリッジディスペンサーの取り扱い 2. 個人トレーへの盛り付け	1. 個人・個歯トレーの用途を説明できる。 2. アドヒープの使用方法を説明できる。 3. カートリッジディスペンサーの各部名称を説明できる。 4. カートリッジディスペンサーの取り扱いができる。 5. 個人トレーへの盛り付けができる。	三村
	B 7/10-1 限				三村
27	A 7/16-1 限	合成ゴム質 印象材 6	3. 積層1回連合印象法	1. 積層1回連合印象採得の必要器材を準備できる。 2. 顎模型上で積層1回連合印象採得ができる。 3. 器具やトレーの受け渡しができる。 4. 印象体の評価ができる。	三村
	B 7/16-2 限				三村
28	A 8/21-2 限	印象材 各論 3	1. 酸化亜鉛ユーージノール印象材 2. モデリングコンパウンド 3. 印象用石膏 4. 機能印象材	1. 印象材の性質を説明できる。 2. 組成を説明できる 3. 硬化機構を説明できる。 4. 取り扱い方法を説明できる。 5. コンパウンドの軟化方法を説明できる。 6. ウォーターバスの取り扱い方法を説明できる。	黒岩
	B 8/21-1 限				黒岩
29	A 8/27-1 限	感染予防 2	1. 標準予防策 2. 歯科医療における感染 予防対策 3. 医療廃棄物	1. 標準予防策の概念を説明できる。 2. 歯科診療で注意が必要な病原体を列挙できる。 3. 感染経路別予防策を説明できる。 4. 個人防護具の種類を列挙できる。 5. 個人防護具の着脱のポイントを説明できる。 6. 廃棄物の分類を説明できる。 7. 感染性廃棄物の分別を説明できる。	高山
	B 8/26-3 限				高山
30	A 8/28-2 限	感染予防 3	滅菌と消毒	1. 滅菌・消毒・洗浄の定義を説明できる。 2. 洗浄法の種類を列挙できる。 3. 消毒薬の三要素を説明できる。 4. 消毒の方法を列挙できる。 5. 滅菌法の種類を列挙できる。 6. 各種滅菌法の特徴を概説できる。	高山
	B 8/28-1 限				高山
31	A 10/3-2 限	共同動作 1	1. 歯科用ユニットの構造、 機能 2. 共同動作の概念 3. 術者・補助者・患者のポ ジショニング 4. 診療時のライティング	1. 歯科用ユニット各部の名称を説明できる。 2. 歯科用ユニットの構造、機能を概説できる。 3. 共同動作の概念を説明できる。 4. 術者のポジショニングを説明できる。 5. 補助者のポジショニングを説明できる。 6. 患者のポジショニングを説明できる。 7. ラइटニングの角度を説明できる。	高山
	B 10/3-1 限				高山
32	A 10/4-1 限	共同動作 2	1. 実習 1)患者誘導 2)歯科用ユニットの 操作	1. 歯科用ユニットの各部の名称を説明できる。 2. 歯科用ユニットの操作方法を説明できる。 3. 患者誘導を説明できる。 4. チェアセッティングができる。 5. エブロン掛けができる。 6. 各々の立場で課題や改善策を検討できる。	高山
	B 10/4-2 限				高山

33	A 10/11-1 限	共同動作 3	1. フォーハンデッド デンティストリー 2. 器具の受け渡し 3. 実習 器具の受け渡し 1) ベングリップ 2) パームグリップ 3) その他	1. フォーハンデッドデンティストリーの意義を説明できる。 2. フォーハンドの手順を概説できる。 3. フォーハンドの原則を概説できる。 4. 器具受け渡し時の注意点を説明できる。 5. 器具に適した受け渡しができる。 6. 患者の安全に配慮できる。 7. 各々の立場で課題や改善策を検討できる。	高山
	B 10/11-2 限				高山
34	A 10/17-2 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 1	1. バキュームテクニク 2. スリーウエイシリンジ テクニク	1. バキュームの目的を説明できる。 2. バキュームの種類を説明できる。 3. バキュームの持ち方を説明できる。 4. バキューム操作の基本を説明できる。 5. バキュームチップ先端の向きを説明できる。 6. バキューム挿入禁忌部位を説明できる。 7. バキューム操作時の注意事項を説明できる。 8. スリーウエイシリンジの使用目的を説明できる。 9. スリーウエイシリンジの操作方法を説明できる。	高山
	B 10/17-1 限				高山
35	A 10/18-1 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 2	1. 滅菌バッグの取り扱い 2. シーラーの取り扱い 3. 使用済み器材の取り扱い 4. マネキン実習	1. 滅菌バッグの特徴を説明できる。 2. シーラーの操作法を説明できる。 3. パッキング方法を説明できる。 4. 使用済み器材の取り扱い方法を説明できる。 5. マネキン上でバキュームチップの挿入法を確認できる。	高山
	B 10/18-2 限				高山
36	A 10/24-2 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 3	1. 清潔域・不潔域 2. 個人防護具の取り扱い 3. 実習説明	1. 清潔域・不潔域を意識できる。 2. 個人防護具の着脱手順を説明できる。 3. ユニットの清拭手順を説明できる。 4. 実習の流れを説明できる。	高山
	B 10/24-1 限				高山
37	A 10/25-1 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 4			高山
	B 10/25-2 限				高山
38	A 10/31-2 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 5	相互実習 1) 部位に応じたバキューム 操作 2) 部位に応じたバキューム・スリーウエイシリンジ 操作 3) 全顎スプレー洗浄	1. 個人防護具を適切に着脱できる。 2. 部位に応じたバキューム操作ができる。 3. 部位に応じたスリーウエイシリンジ操作ができる。 4. 吸引後、歯面を乾燥できる。 5. 吸引後、歯面のスプレー洗浄・乾燥ができる。 6. ライティングができる。 7. 全顎のスプレー洗浄ができる。 8. 全顎スプレー洗浄時のバキューム操作ができる。 9. 患者の安全に配慮できる。 10. 気付きをグループで共有できる。	高山
	B 10/31-1 限				高山
39	A 11/1-1 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 6			高山
	B 11/1-2 限				高山
40	A 11/7-2 限	バキューム・スリーウエイシリンジ テクニク 7			高山
	B 11/7-1 限				高山
41	A 11/14-2 限	アルジネート ト印象材 7	概形印象採得(講義)	1. 概形印象採得の方法と手順を説明できる。 2. 介助の手順を説明できる。 3. 採得時の注意事項を説明できる。	三村
	B 11/14-1 限				三村
42	A 11/15-1 限	アルジネート ト印象材 8		1. 概形印象採得の使用器材を準備できる。 2. トレーの試適ができる。 3. 口腔内にトレーを挿入し、圧接できる。 4. トレーを撤去できる。 5. 患者の安全に配慮できる。 6. 印象体の評価ができる。 7. 概形印象採得の介助ができる。 8. 患者に配慮すべき点を考察できる。	三村
	B 11/15-2 限				三村
43	A 11/21-2 限	アルジネート ト印象材 9	概形印象採得(相互実習)		三村
	B 11/21-1 限				三村
44	A 11/22-1 限	アルジネート ト印象材 10			三村
	B 11/22-2 限				三村
45	A 11/28-2 限	成形修復材 1	種類と用途	成形修復材の種類と用途について理解する。	黒岩
	B 11/28-1 限				黒岩
46	A 11/29-1 限	ラバーダム 防湿 1	基礎知識	1. 目的を説明できる。 2. 利点・欠点を説明できる。 3. 器具の名称と用途を説明できる。 4. 1歯露出の手順を説明できる。 5. 無翼型クランプの装着方法を概説できる。 6. 多数歯露出(前歯部)の手順を概説できる。	高山
	B 11/29-2 限				高山

47	A 12/5-2 限	ラバーダム 防湿 2	1. 1歯露出の手順 2. 実習 ① 1歯露出	1. 目測法でシートの穿孔ができる。 2. クランプの選択ができる。 3. クランプの試適ができる。 4. クランプの撤去ができる。 5. シート穿孔部へクランプを鉤着できる。 6. クランプを装着できる。 7. フレームを装着できる。 8. 歯頸部の括約ができる。 9. ラバーダム防湿を撤去できる。	高山
	B 12/5-1 限				高山
48	A 12/6-1 限	ラバーダム 防湿 3	1. 2歯露出の手順 2. 実習 ② 1)2歯露出 2)1歯露出	1. 2歯露出の手順を説明できる。 2. 直接マーキング法で2歯露出ができる。 3. 時間を意識した1歯露出ができる。	高山
	B 12/6-2 限				高山
49	A 12/12-2 限	ラバーダム 防湿 4 共同動作 4	1. 共同動作 2. 実習 ③ 1)フォーハンドでの1歯 露出 1 2)フォーハンドでの1歯 露出 2 3)個人での1歯露出	1. フォーハンドでの1歯露出ができる。 2. フォーハンドでの1歯露出の介助ができる。 3. 個人での1歯露出の課題を明確にできる。 4. 個人での1歯露出の課題を改善できる。 5. 目標時間内に1歯露出ができる。	高山
	B 12/12-1 限				高山
50	A 12/13-1 限	隔壁 1	1. 基礎知識 2. 窩洞の名称 3. Blackの窩洞の分類 4. 隔壁法 5. 歯間分離法	1. Blackの窩洞分類を説明できる。 2. 隔壁法の目的を説明できる。 3. 隔壁用機器の種類を説明できる。 4. 歯間分離法の目的を説明できる。 5. 歯間分離法の種類を説明できる。	高山
	B 12/13-2 限				高山
51	A 12/19-2 限	隔壁 2	実習 1 1)タッフルマイヤー型 リテーナーの取り扱い 2)リテーナーへのマト リックスバンドの装着 3)模型への装着	1. タッフルマイヤー型リテーナーの各部の名称を説明できる。 2. マトリックスバンドをリテーナーに装着できる。 3. マネキン上で下顎右側第一大臼歯にマトリックスバンドを装着 できる。	高山
	B 12/19-1 限				高山
52	A 12/20-1 限	隔壁 3	実習 2 1)フォーハンド 2)個人	1. フォーハンドでの隔壁法ができる。 2. フォーハンドでの隔壁法を介助できる。 3. マネキン上で上下左右第一大臼歯にマトリックスバンドを装着 できる。	高山
	B 12/20-2 限				高山
53	A 1/9-2 限	歯肉圧排	1. 基礎知識 2. 歯肉圧排用薬剤の種類 3. 歯肉圧排の手順 4. その他の歯肉圧排用 材料 5. 実習 機械的歯肉圧排法	1. 歯肉圧排の目的を説明できる。 2. 歯肉圧排法の種類を説明できる。 3. 使用器材を列挙できる。 4. 使用薬剤を説明できる。 5. 注意点を説明できる。 6. 模型上で機械的歯肉圧排ができる。	高山
	B 1/9-1 限				高山
54	A 1/10-1 限	成形修復材 2	組成と特徴	成形修復材の組成と特徴について理解する。	黒岩
	B 1/10-2 限				黒岩
55	A 1/16-2 限	歯冠修復用 レジン 1	1. 基礎知識 2. 歯冠修復材の種類、 分類、用途 3. 歯冠修復材の所要性質 4. 成形修復材の種類 5. MMAレジン 6. コンポジットレジン	1. 用語の整理ができる。 2. 歯冠修復用レジンの種類と分類、用途を概説できる。 3. 歯冠修復材の所要性質を概説できる。 4. MMAレジンの組成、用途、取り扱い、特徴を説明できる。 5. 成形修復材の種類を列挙できる。 6. コンポジットレジンの組成、用途、特徴、分類を説明できる。 7. 化学重合型と光重合型の相違点を説明できる。	高山
	B 1/16-1 限				高山
56	A 1/17-1 限	歯冠修復用 レジン 2	1. コンポジットレジンの取 り扱い 2. 接着システム	1. コンポジットレジンの取り扱いを説明できる。 2. エッチングによる効果を説明できる。 3. 機能性モノマーを列挙できる。 4. 接着システムを説明できる。	高山
	B 1/17-2 限				高山
57	A 1/23-2 限	歯冠修復用 レジン 3	1.コンポジットレジン修復 1)化学重合型 2)光重合型 3)両者の相違点 4)光重合照射器の種類 2. 仕上げ研磨 3. コンポジットレジン修復 の手順	1. コンポジットレジン修復の器材を列挙できる。 2. 光重合型と化学重合型の手順の相違点を概説できる。 3. 光重合照射器の種類と特徴を説明できる。 4. 仕上げ研磨の目的、器材、方法を概説できる。 5. コンポジットレジン修復の手順を説明できる。	高山
	B 1/23-1 限				高山

58	A 1/24-1 限	歯冠修復用 レジン 4	実習① 1)化学重合型の練和 2)CRシリンジの取り扱い 実習② フォーハンドでの光重 合型コンポジットレジンの 充填実習	1. 化学重合型コンポジットレジンの練和ができる。 2. CRシリンジの取り扱い方法を説明できる。 3. フォーハンドでの光重合型コンポジットレジン充填ができる。 4. フォーハンドでの光重合型コンポジットレジン充填が介助できる。	高山
	B 1/24-2 限				高山
59	A 1/30-2 限	ワックス、 金属	種類、用途、性質	種類、用途、性質について理解する。	黒岩
	B 1/30-1 限				黒岩
60	A 1/31-1 限	セラミックス	用途、分類、種類、性質	用途、分類、種類、性質について理解する。	黒岩
	B 1/31-2 限				黒岩

科目名			担当教員名		
口腔生命科学入門Ⅰ			笠原悦男、川原一郎、吉成伸夫、栗原祐史、大須賀直人、 澁谷徹、川原良美、中根隆、大木絵美、森こず恵、平井博一郎、 森川雅己、杉田寛和		
			学年	開講学期	単位
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科医療と口腔疾患の概要を学び、歯科臨床のシステムや流れを理解することによって、歯科衛生士の役割を自覚し、歯科医学を学ぶ基盤とする。			
教科書		歯科衛生士のための 歯科臨床概論 第2版(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験、出席状況を評価対象とする。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 笠原悦男、川原一郎、吉成伸夫、栗原祐史、大須賀直人、澁谷徹、川原良美、中根隆、大木絵美、森こず恵、平井博一郎、森川雅己、杉田寛和			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科診療の流れや歯科衛生士の役割を教え、歯科医療と口腔疾患の基礎を理解させ、歯科医学を学ぶ基盤を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/15-3 限	歯科医療概論	歯とは 歯の構造、働き	1. 歯の構造と働きを理解し説明できる。 2. おもな歯・口の疾病と異常を説明できる。	川原(一)
	B 4/15-1 限				川原(一)
2	A 4/22-3 限	歯科臨床①	歯科医院 来院の目的 訴え	来院の目的、訴えを理解する。	笠原(悦)
	B 4/22-1 限				笠原(悦)
3	A 5/8-3 限	歯科臨床②	炎症とは 歯周病と全身疾患	炎症を理解し説明できる。	川原(一)
	B 5/8-1 限				川原(一)
4	A 5/13-3 限	歯科医療のあゆみ	オーラルフレイル 健康長寿	オーラルフレイルを理解し説明できる。	川原(一)
	B 5/13-1 限				川原(一)
5	A 5/20-3 限	現代の歯科医療	たばこと健康	たばこの有害性を理解し説明できる。	川原(一)
	B 5/20-1 限				川原(一)
6	A 5/27-3 限	歯科診療の概要 1	初診患者の対応	初診時の合理的な医療面接を理解できる。	大木
	B 5/27-1 限				大木
7	A 6/3-3 限	歯科診療の概要 2	歯周病治療	歯科衛生士業務の中での歯周病治療の重要性を理解し、歯周治療の流れを説明できる。	吉成
	B 6/3-1 限				吉成
8	A 6/10-3 限	歯科診療の概要 3	保存修復治療 歯内治療	修復処置・歯内処置の一連の流れを理解する。	森川
	B 6/10-1 限				森川
9	A 6/17-3 限	歯科診療の概要 4	補綴治療	補綴治療の必要性和種類を説明できる。	平井
	B 6/17-1 限				平井
10	A 6/24-3 限	歯科診療の概要 5	口腔外科治療	口腔外科で取り扱う疾患について理解する。	栗原
	B 6/24-1 限				栗原
11	A 7/1-3 限	歯科診療の概要 6	小児歯科治療	小児歯科治療の流れを説明できる。	大須賀
	B 7/1-1 限				大須賀
12	A 7/8-3 限	歯科診療の概要 7	矯正歯科治療	矯正歯科治療の流れを説明できる。	川原(良)
	B 7/8-1 限				川原(良)
13	A 7/17-3 限	歯科診療の概要 8	歯科麻酔科医の仕事	歯科治療時の全身管理の必要性を理解する。	澁谷
	B 7/17-1 限				澁谷
14	A 8/26-3 限	歯科診療の概要 9	障がい者歯科治療	歯科医療におけるスペシャルニーズを理解する。	杉田
	B 8/26-1 限				杉田
15	A 9/2-3 限	歯科診療の概要 10	エックス線検査	歯科におけるエックス線写真撮影の特徴を理解する。	森(こ)
	B 9/2-1 限				森(こ)

科目名			担当教員		
口腔生命科学入門Ⅱ			安藤宏、平岡行博、宮澤美咲		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		「生物」において人体の基礎を、「化学」において生命現象を、そして「心理」において人のこころを学び、「人間」を理解すると共に専門科目の履修につながる基礎的な知識を習得する。			
教科書		新課程二訂版スクエア最新図説生物(第一学習社)＜安藤＞ 全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ『心理学』(医歯薬出版)＜宮澤＞			
成績評価		担当者ごとに試験を行い評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 宮澤美咲			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、医療現場で患者と接するための心理学の基礎を理解させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/12-3 限	細胞の基本的性質	細胞小器官の働き	細胞の構造と細胞小器官の働きを理解する。	安藤
	B 4/12-2 限				安藤
2	A 4/19-3 限	細胞を構成する主な物質	細胞を構成する主な物質の性質	細胞を構成する主な物質の性質を理解する。	安藤
	B 4/19-2 限				安藤
3	A 4/26-3 限	酵素とタンパク質の性質	タンパク質の構造と酵素	酵素の働きをタンパク質の構造から考え、生体の恒常性の重要性を理解する。	安藤
	B 4/26-2 限				安藤
4	A 5/10-3 限	細胞膜の透過性	細胞膜の透過性と浸透圧	物質による細胞膜の透過性の違いや浸透圧を理解する。	安藤
	B 5/10-2 限				安藤
5	A 5/17-3 限	細胞呼吸	ATP と呼吸	生体のエネルギー利用を理解する。	安藤
	B 5/17-2 限				安藤
6	A 5/24-4 限	酸素の毒性	老化の原因の 1 つは酸素が毒性を持つことである。	1. 露出着はしない。 2. タバコは吸わない。	平岡
	B 5/24-2 限				平岡
7	A 5/31-4 限	口腔組織の化学	結合組織の構成成分、歯の無機質	1. コラーゲンの機能を理解する。 2. 歯のフッ素塗布の意義を説明できる。	平岡
	B 5/31-2 限				平岡
8	A 6/7-4 限	生体中の Ca と P	血中カルシウム濃度の維持機構	1. Ca と P の生理的役割を理解する。 2. 骨粗鬆症の発症機序を説明できる。	平岡
	B 6/7-2 限				平岡
9	A 6/14-4 限	骨と歯の石灰化	アパタイトの形成機序	1. 石灰化の諸説を説明できる。 2. 骨のリモデリングを解説できる。	平岡
	B 6/14-2 限				平岡
10	A 6/21-4 限	唾液の化学	唾液成分の抗う蝕作用	1. う蝕の発生を説明できる。 2. 唾液の意義を理解する。	平岡
	B 6/21-2 限				平岡
11	A 6/28-4 限	見る・聞く・感じるこころ	知覚成立の基礎	知覚はどのように成立しているか知る。	宮澤
	B 6/28-2 限				宮澤
12	A 7/5-4 限	学ぶ・覚えるこころ	学習のプロセス	学習はどのように成立しているか知る。	宮澤
	B 7/5-2 限				宮澤
13	A 7/12-4 限	健康なこころ	メンタルヘルス	こころが健康な状態とは何か、また、それはどのように測定されるかを知る。	宮澤
	B 7/12-2 限				宮澤
14	A 8/23-4 限	カウンセリングのこころ	カウンセリングとは	患者さんへの支援の意義を理解する。	宮澤
	B 8/23-2 限				宮澤
15	A 8/30-4 限	思いを伝えあうこころ	医療コミュニケーションの基礎	歯科医療におけるコミュニケーションの意義を理解する。	宮澤
	B 8/30-2 限				宮澤

科目名			担当教員		
人体の構造と機能 I			堀部寛治		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		<p>人体の構造と機能を学び、基礎歯科医学を学ぶ礎を築く。 歯科医学では、ヒトの正常な身体について形態・構造の面から学ぶ解剖学と、機能の面から学ぶ生理学・生化学が最も基礎となる学問である。構造と機能は表裏一体であり、関連しながら学ぶ事により、より効率的に生体のメカニズムを理解できる。 『人体の構造と機能 I』では、生体の機能を考えながら、構造に力点をおき、人体について学ぶ。</p>			
教科書		<p>歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学』 全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版)</p>			
成績評価		定期試験による成績評価の他、出席状況などから総合的に評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:堀部寛治			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、解剖学・発生学を講義し、歯科医学を学ぶ基礎を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/11-2 限	人体の構造と機能 —序論—	1. 解剖学とは 2. 人体の構成と区分 3. 体の方向用語	1. 人体の構造と機能、解剖学の関連を説明する。 2. 人体の構成と区分を説明する。 3. 体の方向用語を説明する。	堀部
	B 4/11-1 限				堀部
2	A 4/18-2 限	骨格系	1. 骨の構造と機能 2. 人体を構成する骨	1. 骨の構造と機能を説明する。 2. 頭蓋、体幹、上肢・下肢を構成する骨を説明する。	堀部
	B 4/18-1 限				堀部
3	A 4/25-2 限	筋と運動	1. 筋の構造と機能 2. 全身の筋	1. 骨格筋の形態、骨との付着、起始・停止を説明する。 2. 全身に分布する骨格筋の名称と機能を説明する。	堀部
	B 4/25-1 限				堀部
4	A 5/2-2 限	消化・吸収	1. 消化・吸収とは 2. 消化器の構造と機能	消化器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。	堀部
	B 5/2-1 限				堀部
5	A 5/9-2 限	循環	1. 脈管系の概要 2. 血管の構造と機能 3. 心臓の構造と機能 4. 動・静脈の構造と機能 5. リンパ系の概要	脈管系(心臓、動脈系、静脈系、リンパ系)の構造と機能を説明する。	堀部
	B 5/9-1 限				堀部
6	A 5/16-2 限	神経系	1. 神経系の概要 2. 中枢神経系 3. 末梢神経系	1. 神経の分類と機能を説明する。 2. 中枢神経(脳・脊髄)の構造と分布を説明する。 3. 末梢神経の構造と分布を説明する。	堀部
	B 5/16-1 限				堀部
7	A 5/23-2 限	呼吸 感覚	1. 呼吸とは 2. 呼吸器系の構造と機能 3. 感覚器系の構造と機能	1. 呼吸器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。 2. 感覚器系(外皮、視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器)の名称と構造を説明する。	堀部
	B 5/23-1 限				堀部
8	A 5/30-2 限	排泄 内分泌	1. 泌尿器系の構造と機能 2. 内分泌とは 3. 内分泌系の構造と機能	1. 泌尿器系を構成する器官の名称、構造と機能を説明する。 2. 内分泌系器官の名称と構造を説明する。 3. ホルモンの作用を説明する。	堀部
	B 5/30-1 限				堀部
9	A 6/6-2 限	細胞の構造と機能	1. 細胞とは 2. 細胞の構造と機能 3. 細胞の一生	1. 細胞の基本構造と機能を説明する。 2. 細胞の一生(増殖、分化、死)について説明する。	堀部
	B 6/6-1 限				堀部
10	A 6/13-2 限	組織の構造と機能 I	1. 組織とは 2. 上皮組織	1. 細胞、組織、器官の階層を説明する。 2. 上皮組織の構造と特徴を説明する。	堀部
	B 6/13-1 限				堀部

11	A 6/20-2 限	組織の構造と機能 II	1. 支持組織の概要 2. 結合組織の構造 3. 軟骨組織の構造 4. 骨組織の構造 5. 血液の構成	1. 支持組織の特徴を説明する。 2. 結合組織、軟骨組織、骨組織、血液の構造と特徴を説明する。	堀部
	B 6/20-1 限				堀部
12	A 6/27-2 限	組織の構造と機能 III	1. 筋組織の構造 2. 神経組織の構造	1. 筋組織の構造と特徴を説明する。 2. 神経組織の構造と特徴を説明する。	堀部
	B 6/27-1 限				堀部
13	A 7/4-2 限	生殖 個体発生 I	1. 個体発生の概要 2. 染色体と減数分裂 3. 生殖器系の構造と機能 4. 受精と着床	1. ヒトの個体発生の概要を説明する。 2. 染色体と減数分裂について説明する。 3. 生殖器系器官の構造・機能を説明する。 4. 受精と着床を説明する。	堀部
	B 7/4-1 限				堀部
14	A 7/11-2 限	個体発生 II	1. 三胚葉の発生 2. 胚葉と器官形成	1. 三胚葉発生の概要を説明する。 2. 三胚葉と器官系の関連を説明する。	堀部
	B 7/11-1 限				堀部
15	A 8/22-2 限	人体の構造と機能 —総括—	人体の構造と機能のまとめ	人体の構造と機能を復習、総括する。	堀部
	B 8/22-1 限				堀部

科目名			担当教員		
人体の構造と機能Ⅱ			上原俊介、北川純一、Zakir Hossain M		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	—
授業の目的(GIO)		1. 生命現象を化学反応という視点から分析する。 2. 栄養素と生命現象の関わりを理解する。 3. 人体の正常な機能と機序を理解することにより、疾患の原因や治療について正しく理解できるようにする。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ 『人体の構造と機能 2 栄養と代謝』(医歯薬出版)<上原> 全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ 『人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学』(医歯薬出版)<北川>			
成績評価		ノート(北川先生担当分)又は課題(上原担当分)及び期末試験による			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/11-3 限	生化学と代謝	1. 生化学と分子 2. 物質代謝の基礎	1. 分子の概念と生体の主要な原子を説明できる。 2. 生化学的な生命現象の捉え方を説明できる。	上原
	B 4/11-2 限				上原
2	A 4/18-3 限	イオン、pH、酵素	1. 水、イオン、pHと緩衝液 2. 酵素の特徴	1. 水素イオンとpH及び緩衝液の性質を説明できる。 2. 酵素と酵素以外の触媒の違いを説明できる。	上原
	B 4/18-2 限				上原
3	A 4/25-3 限	糖質の代謝	1. 糖質の分類 2. ブドウ糖の分解とグリコーゲンの合成	1. デンプンと砂糖とブドウ糖の違いを説明できる。 2. ブドウ糖がエネルギーに変わる仕組みを説明できる。	上原
	B 4/25-2 限				上原
4	A 5/2-3 限	脂質の代謝	1. 脂質の分類 2. 脂肪酸の合成と分解	1. 中性脂肪とコレステロールの違いを説明できる。 2. 余剰のカロリーが脂肪に変わる仕組みを説明できる。	上原
	B 5/2-2 限				上原
5	A 5/9-3 限	タンパク質の代謝	1. アミノ酸の特徴 2. アミノ基、生体アミン	1. アミノ酸の構造と必須アミノ酸の定義を説明できる。 2. アミノ基の代謝と代表的な生体アミンを説明できる。	上原
	B 5/9-2 限				上原
6	A 5/16-3 限	タンパク質の設計 図としての遺伝子	1. 染色体とDNA 2. セントラルドグマ	1. 染色体とDNAの関係を説明できる。 2. DNAの情報とタンパク質とのつながりを説明できる。	上原
	B 5/16-2 限				上原
7	A 5/23-3 限	ビタミン	1. ビタミンの分類 2. 欠乏症	1. 水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンについて説明できる。 2. ビタミンの欠乏によって生じる疾患を説明できる。	上原
	B 5/23-2 限				上原
8	A 5/30-3 限	筋・運動	筋細胞・運動神経	筋肉が動くメカニズムと反射が説明できる。	北川 Hossain
	B 5/30-2 限				北川 Hossain
9	A 6/6-3 限	消化・吸収	消化管の機能	消化・吸収のメカニズムが説明できる。	北川 Hossain
	B 6/6-2 限				北川 Hossain
10	A 6/13-3 限	血液・循環	血液循環	1. 血液循環について説明できる。 2. 血液の組成と機能について説明できる。	北川 Hossain
	B 6/13-2 限				北川 Hossain

11	A 6/20-3 限	中枢神経系	中枢神経	中枢神経の機能が説明できる。	北川 Hossain
	B 6/20-2 限				北川 Hossain
12	A 6/27-3 限	末梢神経系・呼吸	末梢神経・呼吸運動	1. 末梢神経の機能が説明できる。 2. 呼吸運動のメカニズムが説明できる。	北川 Hossain
	B 6/27-2 限				北川 Hossain
13	A 7/4-3 限	感覚	体性感覚・特殊感覚	感覚受容器と伝達経路が説明できる。	北川 Hossain
	B 7/4-2 限				北川 Hossain
14	A 7/11-3 限	排泄・体温	排泄機能・体温調節	1. 排泄機能を説明できる。 2. 体温調節のメカニズムを説明できる。	北川 Hossain
	B 7/11-2 限				北川 Hossain
15	A 8/22-3 限	内分泌・生殖	内分泌調節・生殖機能	1. 内分泌調節のメカニズムが説明できる。 2. 女性の生殖機能が説明できる。	北川 Hossain
	B 8/22-2 限				北川 Hossain

科目名			担当教員		
歯・口腔の構造と機能 I			奥村雅代、平賀徹、西田大輔		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	4	60	講義	○

授業の目的(GIO)	歯科医療に従事するものとして、歯科医学の基礎として、歯と口腔の構造と機能を学ぶ。 学ぶ対象と視点から大きく以下の3つに分類し、それぞれについて理解する。 1. 口腔の構造と機能 2. 歯の構造、種類と機能 3. 歯と口腔の組織構造と機能
教科書	歯科衛生学シリーズ『歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』 全国歯科衛生士教育協議会 監修 (医歯薬出版)
成績評価	定期試験による成績評価の他、出席状況などから総合的に評価する。
実務経験のある教員 及び実務経験職種	歯科医師:平賀徹、西田大輔
実務経験を踏まえた 授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯の解剖学・口腔組織学を講義し、歯科医学の基礎を習得させる。

回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/11-1 限	口腔解剖学序論	口腔とは 口腔解剖学の概要	1. 口腔の各部位の名称と特徴を説明できる。 2. 固有口腔と口腔前庭の特徴を説明できる。	奥村
	B 4/11-3 限				奥村
2	A 4/12-1 限	歯の解剖学総論①	歯の概要、歯の構造 歯の種類と名称、歯の記号	1. 歯の概要、構造を説明できる。 2. 歯の種類と名称を説明できる。 3. 歯の記号を説明できる。	平賀
	B 4/12-3 限				平賀
3	A 4/18-1 限	歯の解剖学総論②	歯の方向用語 歯の形態	1. 歯の方向用語を説明できる。 2. 歯の形態(歯冠、歯根、歯髓腔)を説明できる。	平賀
	B 4/18-3 限				平賀
4	A 4/19-1 限	永久歯①	切歯の種類と特徴 犬歯の特徴	1. 切歯の種類と形態の特徴を説明できる。 2. 犬歯の形態の特徴を説明できる。	平賀
	B 4/19-3 限				平賀
5	A 4/25-1 限	永久歯②	小臼歯の種類と特徴	小臼歯の種類と形態の特徴を説明できる。	平賀
	B 4/25-3 限				平賀
6	A 4/26-1 限	永久歯③	大臼歯の種類と特徴	大臼歯の種類と形態の特徴を説明できる。	平賀
	B 4/26-3 限				平賀
7	A 5/2-1 限	永久歯の鑑別	永久歯の鑑別演習	永久歯の鑑別を通じて、永久歯のかたちの理解を深める。	平賀
	B 5/2-3 限				平賀
8	A 5/9-1 限	乳歯	乳歯の種類と特徴 乳歯の形態の特徴	1. 乳歯の種類と特徴を説明できる。 2. 各乳歯の形態と特徴を説明できる。	平賀
	B 5/9-3 限				平賀
9	A 5/10-1 限	歯の異常	歯の数、大きさ、形態の異常	歯の数、大きさ、形態の異常を説明できる。	平賀
	B 5/10-3 限				平賀
10	A 5/16-1 限	歯列と咬合	歯列と咬合の概要	歯列と咬合の概要を説明できる。	平賀
	B 5/16-3 限				平賀
11	A 5/17-1 限	口腔の区分と構造	口腔前庭と固有口腔 口腔の構造	口腔の各部の名称と構造を説明できる。	奥村
	B 5/17-3 限				奥村
12	A 5/23-1 限	舌と咽頭	舌のかたちと構造、機能 咽頭のかたちと構造、機能	1. 舌各部の名称と構造、機能を説明できる。 2. 咽頭各部の名称と構造、機能を説明できる。	奥村
	B 5/23-3 限				奥村
13	A 5/24-1 限	頭蓋骨	頭蓋骨の種類と構成	1. 頭蓋を構成する骨を説明できる。 2. 頭蓋骨の外観と構成を説明できる。	奥村
	B 5/24-3 限				奥村
14	A 5/30-1 限	口腔を構成する骨	上顎骨と口蓋骨 下顎骨	1. 上顎を構成する骨を説明できる。 2. 下顎を構成する骨を説明できる。	奥村
	B 5/30-3 限				奥村

15	A 5/31-1 限	下顎の筋と顎関節	咀嚼筋の起始と停止、作用 顎関節の構造と機能	1. 下顎運動に関わる筋を説明できる。 2. 顎関節の構造と機能を説明できる。	奥村
	B 5/31-3 限				奥村
16	A 6/6-1 限	頭頸部と顔面の筋	舌骨上筋と舌骨下筋 表情筋の起始と停止、作用	1. 頸部の筋と前頸三角を説明できる。 2. 表情筋の起始と停止、作用を説明できる。	奥村
	B 6/6-3 限				奥村
17	A 6/7-1 限	口腔付近に分布する動脈	口腔付近に分布する動脈	頭頸部と顎顔面部に分布する動脈を説明できる。	奥村
	B 6/7-3 限				奥村
18	A 6/13-1 限	静脈とリンパ	口腔付近に分布する静脈とリンパ	口腔付近に分布する静脈とリンパを説明できる。	奥村
	B 6/13-3 限				奥村
19	A 6/14-1 限	神経①	末梢神経と自律神経	末梢神経と自律神経の構成と機能を説明できる。	奥村
	B 6/14-3 限				奥村
20	A 6/20-1 限	神経②	三叉神経、顔面神経	三叉神経と顔面神経の構成と機能を説明できる。	奥村
	B 6/20-3 限				奥村
21	A 6/21-1 限	神経③	舌咽神経、迷走神経、舌下神経	舌咽神経、迷走神経、舌下神経の構成と機能を説明できる。	奥村
	B 6/21-3 限				奥村
22	A 6/27-1 限	歯と口腔の組織・序論 エナメル質	歯と口腔を構成する組織の概要 エナメル質の組織構造と機能	1. 歯と口腔を構成する組織の概要を説明できる。 2. エナメル質の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 6/27-3 限				西田
23	A 6/28-1 限	象牙質	象牙質の組織構造と機能	象牙質の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 6/28-3 限				西田
24	A 7/4-1 限	歯髄 セメント質	歯髄の組織構造と機能 セメント質の組織構造と機能	1. セメント質の組織構造と機能の特徴を説明できる。 2. 歯髄の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 7/4-3 限				西田
25	A 7/5-1 限	歯根膜 歯槽骨	歯根膜の組織構造と機能 歯槽骨の組織構造と機能	1. 歯根膜の組織構造と機能の特徴を説明できる。 2. 歯槽骨の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 7/5-3 限				西田
26	A 7/11-1 限	歯肉 口腔粘膜	歯肉の区分と組織構造 口腔粘膜の組織構造と機能	1. 歯肉の区分と組織構造の特徴を説明できる。 2. 口腔粘膜の組織構造と機能の特徴を説明できる。	西田
	B 7/11-3 限				西田
27	A 7/12-1 限	口腔組織発生①	鰓弓、顔面と口蓋の形成	鰓弓および顔面と口蓋形成の概要を説明できる。	西田
	B 7/12-3 限				西田
28	A 8/22-1 限	口腔組織発生②	歯の発生	1. 歯の発生の概要を説明できる。 2. 歯周組織の発生の概要を説明できる。	西田
	B 8/22-3 限				西田
29	A 8/23-1 限	歯と口腔の組織①	歯の組織構造	歯の組織構造について、スライドを用い実習できる。	西田
	B 8/23-3 限				西田
30	A 8/30-1 限	歯と口腔の組織②	歯周組織の組織構造	1. 歯周組織の組織構造について、スライドを用い実習できる。 2. 歯と口腔の組織について総括できる。	西田
	B 8/30-3 限				西田

科目名			担当教員		
歯・口腔の構造と機能Ⅱ			北川純一、Zakir Hossain M、上原俊介		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	—
授業の目的(GIO)		1. 口腔内に存在する成分の性質を理解する。 2. それらの成分が口腔内での現象とどのように関わるかを理解する。 3. 口腔の正常な機能と機序を理解することにより、疾患の原因や治療について正しく理解できるようにする。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』（医歯薬出版）<北川> 全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能 2 栄養と代謝』（医歯薬出版）<上原>			
成績評価		ノート(北川先生担当分)又は課題(上原担当分)及び期末試験による			
実務経験のある教員及び実務経験職種		—			
実務経験を踏まえた授業の内容		—			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/12-4 限	口腔感覚	脳神経・感覚機能	口腔内の感覚が説明できる。	北川 Hossain
	B 4/12-1 限				北川 Hossain
2	A 4/19-4 限	咬合・咀嚼	咬合と咀嚼運動	咀嚼運動の役割とメカニズムが説明できる。	北川 Hossain
	B 4/19-1 限				北川 Hossain
3	A 4/26-4 限	嚥下・嘔吐	嚥下反射・嘔吐反射	嚥下反射、嘔吐反射のメカニズムが説明できる。	北川 Hossain
	B 4/26-1 限				北川 Hossain
4	A 5/10-4 限	発声	発声の機序	発声のメカニズムが説明できる。	北川 Hossain
	B 5/10-1 限				北川 Hossain
5	A 5/17-4 限	唾液	唾液の性状と機能	唾液分泌の機序や機能が説明できる。	北川 Hossain
	B 5/17-1 限				北川 Hossain
6	A 5/24-3 限	歯と歯周組織	歯と歯周組織の構造	歯と歯周組織の構造と機能が説明できる。	北川 Hossain
	B 5/24-1 限				北川 Hossain
7	A 5/31-3 限	総括	口腔機能	口腔機能のメカニズムが説明できる。	北川 Hossain
	B 5/31-1 限				北川 Hossain
8	A 6/7-3 限	結合組織	1. 細胞外マトリクス 2. 線維状タンパク質	1. 細胞外のタンパク質の分類を説明できる。 2. コラーゲン分子の特徴を説明できる。	上原
	B 6/7-1 限				上原
9	A 6/14-3 限	歯の構成成分	1. 歯の無機成分 2. 歯の有機成分	1. ヒドロキシアパタイトの構造と特徴を説明できる。 2. エナメル質、象牙質に特有の有機成分を説明できる。	上原
	B 6/14-1 限				上原
10	A 6/21-3 限	石灰化とカルシウム調節	1. 石灰化機構 2. 血中カルシウム濃度の調節	1. 骨や歯の石灰化の仕組みを説明できる。 2. カルシウム調節に関わるホルモンを説明できる。	上原
	B 6/21-1 限				上原

11	A 6/28-3 限	唾液の成分	1. 唾液の無機成分 2. 唾液の有機成分	1. 重炭酸イオンと緩衝能について説明できる。 2. 抗菌作用に関わる有機成分を説明できる。	上原
	B 6/28-1 限				上原
12	A 7/5-3 限	歯の堆積物	ペリクル、プラーク、歯石	後天的に歯に堆積するペリクル、プラーク、歯石の組成と形成機構を説明できる。	上原
	B 7/5-1 限				上原
13	A 7/12-3 限	免疫の概説	自然免疫と獲得免疫	免疫系に関わる細胞とそれらが産生する脂質メディエーター、抗体、サイトカインについて説明できる。	上原
	B 7/12-1 限				上原
14	A 8/23-3 限	口腔疾患の免疫	歯周疾患と免疫	歯周疾患と免疫系との関わり、免疫系が働くことによって生じる病態について説明できる。	上原
	B 8/23-1 限				上原
15	A 8/30-3 限	まとめ	生体分子と口腔	口腔内に存在する分子の分類、特徴について説明できる。	上原
	B 8/30-1 限				上原

科目名			担当教員		
口腔衛生学 I			定岡 直		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進のための原理を理解し、健康づくりの方策を学ぶ。地域社会における集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を学ぶ。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『保健生態学』(医歯薬出版)			
成績評価		受講態度および定期試験			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:定岡直			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯・口腔の疾病予防と健康の保持増進のための原理等を講義し、地域社会における集団レベルでの疾病予防、健康管理に必要とされる知識を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/16-3 限	歯・口腔の健康増進①	口腔環境の健康と予防の定義と方法	WHOが定めた健康の定義、Leavell & Clark の予防の水準、ハイリスクストラテジー・ポピュレーションストラテジーを説明できる。	定岡
	B 4/16-1 限				定岡
2	A 4/23-3 限	歯・口腔の健康増進②	WHOの口腔保健目標・健康日本 21 と健康増進法、歯科口腔保健法	WHO2020 の目標、健康日本 21 の成り立ちや経過、健康増進法、歯科口腔保健法を説明できるようにする。	定岡
	B 4/23-1 限				定岡
3	A 4/30-3 限	歯・口腔の構造①	歯・歯周組織・口腔粘膜・舌・顎関節	歯と口腔の構造について説明できるようにする。	定岡
	B 4/30-1 限				定岡
4	A 5/7-3 限	歯・口腔の構造②	唾液腺・口腔の発生・歯の石灰化・萌出・形成時期・形成異常	唾液腺の種類や働きについて説明できる。歯と口腔の形成及び発育について説明できる。	定岡
	B 5/7-1 限				定岡
5	A 5/14-3 限	歯・口腔の構造③	口腔機能(咀嚼・発音)・全身の健康との関連性	口腔の機能や全身の健康との関連性について説明できる。	定岡
	B 5/14-1 限				定岡
6	A 5/21-3 限	歯・口腔の不潔	歯・口腔の付着物	プラーク、歯石の形成について説明できる。	定岡
	B 5/21-1 限				定岡
7	A 5/28-3 限	歯科疾患の疫学	歯科疾患の疫学的特性	歯科疾患の疫学的特性について説明できる。	定岡
	B 5/28-1 限				定岡
8	A 6/4-3 限	歯科疾患の疫学	歯科疾患の疫学的特性	歯科疾患の疫学的特性について説明できる。	定岡
	B 6/4-1 限				定岡
9	A 6/11-3 限	う蝕の予防①	う蝕の基礎知識	う蝕発生要因、機序、リスク評価を説明できる。	定岡
	B 6/11-1 限				定岡
10	A 6/18-3 限	う蝕の予防②	う蝕の予防方法	う蝕発生要因に対応した予防法を説明できる。	定岡
	B 6/18-1 限				定岡
11	A 6/25-3 限	う蝕の予防③	歯とフッ化物	フッ化物によるう蝕予防について説明できる。	定岡
	B 6/25-1 限				定岡
12	A 7/2-3 限	歯周疾患の予防①	歯周疾患の基礎知識	歯周疾患の分類、発生要因、機序、進行を説明できる。	定岡
	B 7/2-1 限				定岡
13	A 7/9-3 限	歯周疾患の予防②	歯周疾患の予防方法	歯周疾患の予防方法を説明できる。	定岡
	B 7/9-1 限				定岡
14	A 7/16-3 限	その他の疾患の予防	口臭・不正咬合の予防	口臭の原因と予防について説明できる。	定岡
	B 7/16-1 限				定岡
15	A 8/27-3 限	ライフステージごとの口腔保健管理	各年代の口腔保健管理	各年代の口腔保健管理について説明できる。	定岡
	B 8/27-1 限				定岡

科目名			担当教員		
歯科衛生士概論			島田陽子、笠原悦男		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『歯科衛生学総論』(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験結果およびプレゼンテーション、提出物を評価対象とする。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科衛生士:島田陽子 歯科医師:笠原悦男			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科衛生士として実務経験のある教員および歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士の業務と社会的役割を講義し、それぞれが目指す歯科衛生士像を明確にさせる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/10-1限	概説	歯科衛生士の業務	1. 歯科衛生士の定義を述べることができる。 2. 歯科衛生業務の構成要素を説明できる。 3. 「健康」について述べるができる。	島田
	B 4/10-3限				島田
2	A 4/17-1限	歯科医療	歯科医療保健を支えるもの	1. 歯科医療の目標を説明できる。 2. 歯科医療の内容と特異性を列挙できる。 3. 治療方法から見た歯科医療の分野を説明できる。	笠原(悦)
	B 4/17-3限				笠原(悦)
3	A 4/24-1限	歯科衛生士の歴史	歯科衛生の誕生～展望	1. 日本の歯科衛生の誕生について概説できる。 2. 歯科衛生士の歴史について概説できる。	島田
	B 4/24-3限				島田
4	A 5/1-1限	科学的思考	歯科衛生活動のための理論	1. 予防の概念を説明できる。 2. EBM、批判的思考を説明できる。 3. 保健行動の理論を説明できる。	島田
	B 5/1-3限				島田
5	A 5/15-1限	歯科衛生士法	歯科衛生士法と歯科衛生業務	1. 業務独占、名称独占を説明できる。 2. 歯科衛生士の法的義務を説明できる。 3. 歯科衛生業務に関連する法規を概説できる。	島田
	B 5/15-3限				島田
6	A 5/22-1限	歯科衛生過程	歯科衛生過程の活用	1. 歯科衛生過程を活用する意義を説明できる。 2. 歯科衛生過程を概説できる。 3. 歯科衛生過程のプロセス、構成要素を列挙できる。 4. POS、SOAPを概説できる。	島田
	B 5/22-3限				島田
7	A 5/29-1限	安全管理	医療におけるリスクマネジメント	1. 安全管理の必要性を説明できる。 2. ヒューマンエラーについて説明できる。 3. 安全管理についての法的責任について説明できる。	島田
	B 5/29-3限				島田
8	A 6/5-1限	医療倫理	歯科衛生士と医療倫理	1. 医療倫理について概説できる。 2. 歯科衛生と倫理について説明できる。 3. インフォームドコンセントを説明できる。 4. インフォームドチョイスを説明できる。 5. セカンドオピニオンを説明できる。	島田
	B 6/5-3限				島田
9	A 6/12-1限	患者対応 1	接遇の基礎(敬語)	1. 尊敬語・謙譲語・丁寧語で表現できる。	島田
	B 6/12-3限				島田
10	A 6/19-1限	患者対応 2	接遇の基礎(言葉遣い)	1. 患者対応に適した言葉遣いができる。	島田
	B 6/19-3限				島田
11	A 6/26-1限	患者対応 3	ホスピタリティー	1. ホスピタリティーについて討議できる。 2. 歯科医療におけるホスピタリティーを討議できる。	島田
	B 6/26-3限				島田
12	A 7/3-1限	歯科衛生士の活動	歯科衛生士の活動	1. 就業歯科衛生士数の推移を説明できる。 2. 歯科医療従事者の就業者数の推移を概説できる。 3. 歯科衛生活動の場を説明できる。	島田
	B 7/3-3限				島田
13	A 7/10-1限	チーム医療	多職種連携 海外における歯科衛生士	1. チーム医療について概説できる。 2. NSTについて説明できる。 3. 海外における歯科衛生士の現状を概説できる。	島田
	B 7/10-3限				島田
14	A 8/21-1限	歯科衛生士業務の展開	目標とする歯科衛生士像を考える	1. 自分の目指す歯科衛生士像をプレゼンテーションできる。	島田
	B 8/21-3限				島田
15	A 8/28-1限				島田
	B 8/28-3限				島田

科目名			担当教員		
医療コミュニケーション			森 啓、大木絵美		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	演習	○
授業の目的(GIO)		医療従事者として必要なコミュニケーションに関する知識と技術を習得する。			
教科書		指定しない			
成績評価		受講態度および定期試験によって評価する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師：森啓、大木絵美			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、医療従事者として必要な患者とのコミュニケーションに関する知識と技術を演習を通して習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/1-1 限	導入	医療コミュニケーションの概要	医療コミュニケーションの基本理念を理解できる。	森(啓)
	B 10/1-2 限				森(啓)
2	A 10/8-1 限	プロフェッショナルリズム	医療人として行動規範	プロフェッショナリズムについて考えることができる。	大木
	B 10/8-2 限				大木
3	A 10/15-1 限	倫理と態度	医療人としての倫理と態度	医療人として必要な倫理および態度を理解し、説明し実施できる。	森(啓)
	B 10/15-2 限				森(啓)
4	A 10/22-1 限	基本的事項	コミュニケーションの基本的スキル	コミュニケーションにおける基本的スキルを理解し説明することができる。	大木
	B 10/22-2 限				大木
5	A 10/29-1 限	コミュニケーションスキル	コミュニケーションスキルの重要性	コミュニケーションスキルとは何かを理解できる。	大木
	B 10/29-2 限				大木
6	A 11/5-1 限	子ども・高齢者・障害者	子どもとその保護者、高齢者、障害児・者に対するコミュニケーション	1. 子どもとその保護者に対するコミュニケーションにおける特性を理解し説明することができる。 2. コミュニケーションを理解し説明することができる。 3. 高齢者、障害児・者のコミュニケーションの特性を理解することができる。	森(啓)
	B 11/5-2 限				森(啓)
7	A 11/12-1 限	行動変容①	行動変容法の基本的知識	行動変容法の基本的理念を理解し説明できる。	大木
	B 11/12-2 限				大木
8	A 11/19-1 限	行動変容②	行動変容法の応用	行動変容の過程を理解し、それぞれの過程に適した対応を考慮し実施できる。	大木
	B 11/19-2 限				大木
9	A 11/26-1 限	コミュニケーション理論	患者のモチベーション	動機づけの概念を理解できる。	大木
	B 11/26-2 限				大木
10	A 12/3-1 限	ロールプレイ	学生同士にてシミュレーションを試みる	コミュニケーションを理解し、お互いの立場の違いを体験、理解できる。	森(啓)
	B 12/3-2 限				森(啓)
11	A 12/10-1 限	医療面接	医療面接の基本的知識	医療面接に対する基本的知識を説明できる。	森(啓)
	B 12/10-2 限				森(啓)
12	A 12/17-1 限	ポートフォリオ	ポートフォリオとは何か	ポートフォリオの活用法を理解できる。	大木
	B 12/17-2 限				大木
13	A 1/21-1 限	SGD	Small group discussion (SGD) を試みる	Small group discussion (SGD) を理解できる。	森(啓)
	B 1/21-2 限				森(啓)
14	A 1/28-1 限	診療への備え	臨床の現場における実際のコミュニケーション	医療現場におけるコミュニケーションを理解し実施できる。	森(啓)
	B 1/28-2 限				森(啓)
15	A 2/4-1 限	まとめ	講義全体のまとめと補足	医療コミュニケーションの概要を説明できる。	森(啓)
	B 2/4-2 限				森(啓)

科目名			担当教員		
言語表現			山口 亮		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	—

授業の目的(GIO)	1. 基本的な文章を読み、理解する力をつける。 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ。 3. 自分の理解した内容を表現する力をつける。 * 学生の状況により、一部変更あり
教科書	プリント配布。
成績評価	授業への取り組み全体を見て、定期試験や提出課題などをもとに総合評価をする。
実務経験のある教員及び実務経験職種	—
実務経験を踏まえた授業の内容	—

回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/1-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/1-3 限				山口
2	A 10/8-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/8-3 限				山口
3	A 10/15-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/15-3 限				山口
4	A 10/22-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/22-3 限				山口
5	A 10/29-2 限	小説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 10/29-3 限				山口
6	A 11/5-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/5-3 限				山口
7	A 11/12-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/12-3 限				山口
8	A 11/19-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/19-3 限				山口
9	A 11/26-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 11/26-3 限				山口
10	A 12/3-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	読解問題を解く 文の構造、内容を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 12/3-3 限				山口
11	A 12/10-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 12/10-3 限				山口
12	A 12/17-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 12/17-3 限				山口
13	A 1/21-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 1/21-3 限				山口
14	A 1/28-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 1/28-3 限				山口
15	A 2/4-2 限	論説文を読む 短い文章の校正	記述問題を解く 文の構造、内容、表現方法を説明 表現の誤りを指摘し、適切に修正する	1. 文章を読む中で、文構造を理解し、内容を理解し表現する 2. 言葉の適切な使い方を学ぶ	山口
	B 2/4-3 限				山口

科目名			担当教員		
病理学・口腔病理学			村上 聡、嶋田勝光		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		歯科臨床における各種疾患の病態の把握、治療に関する病理学的基盤、すなわち基本病変の病因、病態、転帰について習得する。その上で、とくに口腔・顎顔面領域に起こる疾患について理解する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学』(医歯薬出版)			
成績評価		講義内容に対する筆記試験(記述式、多肢選択式)によって評価を行う。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:村上聡、嶋田勝光			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験を踏まえ、病理診断医として実践的な病理・口腔病理学を教授する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/3-1限	序論、病因論、遺伝性疾患と奇形	内因、外因、遺伝子病、配偶子病、顕性遺伝、潜性遺伝、伴性遺伝、染色体異常	病因論について説明できる。 遺伝病について概説できる。 染色体異常を説明できる。	村上
	B 10/3-2限				村上
2	A 10/17-1限	循環障害(確認テスト)	循環系、水腫、虚血、充血、出血とその素因、血液凝固機序と血栓症、塞栓症、ショック、傍側循環、高血圧と低血圧	循環障害を分類し、それぞれを説明できる。	村上
	B 10/17-2限				村上
3	A 10/24-1限	代謝障害と退行性病変(確認テスト)	変性、萎縮、壊死、アポトーシス、代謝障害、内分泌障害	退行性病変を分類し、それぞれを説明できる。	村上
	B 10/24-2限				村上
4	A 10/31-1限	増殖と修復(確認テスト)	細胞の増殖と分化、肥大と再生、化生、再生、肉芽組織	増殖と修復について分類し、各々を概説できる。	村上
	B 10/31-2限				村上
5	A 11/7-1限	炎症 1(確認テスト)	炎症の定義、原因、組織変化、炎症性細胞とケミカルメディエーター、急性炎症、慢性炎症、炎症の転帰、名称と種類、病原微生物と炎症反応	炎症の定義、原因と組織変化、炎症のメカニズムについて説明できる。 急性炎症と慢性炎症の違いを説明できる。	村上
	B 11/7-2限				村上
6	A 11/14-1限	炎症 2(確認テスト)	日和見感染、免疫応答、移植免疫、アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症候群	炎症と感染症、免疫とアレルギー、自己免疫疾患を概説できる。	村上
	B 11/14-2限				村上
7	A 11/21-1限	腫瘍(確認テスト)	腫瘍概論、腫瘍組織と細胞、腫瘍の発生、腫瘍の原因、腫瘍の増殖、良性と悪性、腫瘍の分類、疫学	腫瘍について概説できる。 腫瘍の良性と悪性の違いを説明できる。	村上
	B 11/21-2限				村上
8	A 11/28-1限	歯の发育異常、損傷、着色、沈着症(確認テスト)	大きさの異常、形の異常、数の異常、構造の異常、色の異常、萌出の異常、位置の異常、咬合の異常、歯の機械的・化学的損傷、プラーク、歯石、歯の着色	歯の发育異常、損傷と付着物についてそれぞれ説明できる。	嶋田
	B 11/28-2限				嶋田
9	A 12/5-1限	う蝕、象牙質・歯髄複合体の病変(確認テスト)	う蝕の進行、歯髄炎、歯髄壊死、刺激に対する歯髄の応答	う蝕と象牙質・歯髄複合体に起こる病変を説明できる。	嶋田
	B 12/5-2限				嶋田
10	A 12/12-1限	歯周組織の病変、口腔粘膜疾患(確認テスト)	歯肉病変、歯肉炎、歯周炎、歯の移動、インプラントの病理 色調異常、粘膜上皮の疾患、前癌病変	1. 根尖性、辺縁性歯周組織の病態を説明できる。 2. 歯科治療に伴う治癒の状態を概説できる。 3. 口腔粘膜疾患、口腔癌、前癌病変を説明できる。	嶋田
	B 12/12-2限				嶋田
11	A 12/19-1限	嚢胞、口腔の腫瘍、口腔癌(確認テスト)	歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、口腔癌	1. 口腔の嚢胞を分類し概説できる。 2. 口腔の腫瘍、口腔癌について説明できる。	嶋田
	B 12/19-2限				嶋田
12	A 1/9-1限	顎骨の病変(確認テスト)	顎骨骨髓炎、骨壊死、腫瘍様病変	1. 顎骨の病変について概説できる。 2. 薬剤関連性骨壊死を説明できる。	嶋田
	B 1/9-2限				嶋田

13	A 1/16-1 限	唾液腺の疾患、唾液腺腫瘍(確認テスト)	唾液腺の疾患、唾液腺腫瘍	1. 唾液腺疾患について概説できる。 2. 唾液腺腫瘍を説明できる。	嶋田
	B 1/16-2 限				嶋田
14	A 1/23-1 限	口腔の奇形、口腔の加齢変化(確認テスト)	顔面・口腔の発生とその奇形、発育異常 加齢に伴う口腔病変、全身疾患	1. 口腔の発育異常、奇形を分類する。 2. 加齢、全身疾患と口腔病変について理解する。	嶋田
	B 1/23-2 限				嶋田
15	A 1/30-1 限	まとめ講義・病理検査	病理総論と病理各論(口腔病理学)の再整理、臨床病理への展開	病理学・口腔病理学の臨床への応用について理解する。	嶋田
	B 1/30-2 限				嶋田

科目名			担当教員		
薬理学・歯科薬理学			喜多村洋幸		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		薬物は薬理作用をもつ化学物質であり、疾患の治療や予防を目的として適応される。薬物による生体への影響(薬理作用)を理解し、薬物と疾患との関係、薬物の作用機序や副作用などを習得する。これらを学ぶ上で必要且つ重要となる基礎的知識(生理学・生化学・微生物学など)も確認しながら、総合的に薬理学・歯科薬理学を理解する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会 監修: 歯科衛生学シリーズ『疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学』(医歯薬出版)			
成績評価		筆記試験など、出席状況			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 喜多村洋幸			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師としての病院勤務の経験を踏まえて薬理学の基本的知識及び治療薬について講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/2-2 限	総論 1	薬物の定義と分類 薬物の作用	1. 法律による薬物の定義と分類を説明できる。 2. 薬理作用の基本形式とメカニズムを理解する。	喜多村
	B 10/2-1 限				喜多村
2	A 10/9-2 限	総論 2	薬物動態 1	1. 薬物動態の基本事項を説明できる。 2. 薬物の適用方法の種類、反復・併用効果を理解する。	喜多村
	B 10/9-1 限				喜多村
3	A 10/23-2 限	総論 3	薬物動態 2 薬物の副作用、医薬品の開発	1. 薬効に影響を及ぼす要因を説明できる。 2. 薬物の副作用、医薬品の開発を理解する。	喜多村
	B 10/23-1 限				喜多村
4	A 10/30-2 限	総論 4 中枢神経系と薬	薬物の取り扱い 中枢神経系に作用する薬物	1. 薬物の取り扱いについて理解する。 2. 全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬の作用を理解する。	喜多村
	B 10/30-1 限				喜多村
5	A 11/6-2 限	末梢神経系と薬	自律神経系に作用する薬物	1. 交感神経・副交感神経作動薬・遮断薬の作用を理解する。 2. 筋弛緩薬の作用を理解する。	喜多村
	B 11/6-1 限				喜多村
6	A 11/13-2 限	循環・呼吸器系と薬	循環・呼吸器系に作用する薬物	1. 高血圧・不整脈・心不全・狭心症・高脂血症治療薬の作用を理解する。 2. 気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬の作用を理解する。	喜多村
	B 11/13-1 限				喜多村
7	A 11/20-2 限	局所麻酔薬	局所麻酔薬	1. 局所麻酔薬の分類と作用機序を説明できる。 2. 局所麻酔薬の適応、効果、副作用を理解する。	喜多村
	B 11/20-1 限				喜多村
8	A 11/27-2 限	血液と薬	止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬	1. 血液凝固系と線溶系の機序を説明できる。 2. 止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬の作用を理解する。	喜多村
	B 11/27-1 限				喜多村
9	A 12/4-2 限	炎症と薬	抗炎症薬、解熱鎮痛薬	1. 炎症を説明できる。 2. ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬の作用を理解する。	喜多村
	B 12/4-1 限				喜多村
10	A 12/11-2 限	抗感染症薬 免疫と薬 1	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬 免疫増強薬、免疫抑制薬	1. 抗感染症薬の分類と作用を理解する。 2. 免疫反応、アレルギー反応を説明できる。 3. 免疫増強薬、免疫抑制薬の作用を理解する。	喜多村
	B 12/11-1 限				喜多村
11	A 12/18-2 限	免疫と薬 2 悪性腫瘍と薬	抗アレルギー薬、ワクチン 抗悪性腫瘍薬	1. 抗アレルギー薬、ワクチンの作用を理解する。 2. 抗悪性腫瘍薬の作用を理解する。	喜多村
	B 12/18-1 限				喜多村

12	A 1/8-2 限	痛みと薬 ビタミン・ホルモンと 薬	鎮痛薬 ビタミン、ホルモン 糖尿病治療薬、骨粗鬆 症治療薬	1. 鎮痛薬の作用を理解する。 2. ビタミン、ホルモンの作用を理解する。 3. 糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬の作用を理解する。	喜多村
	B 1/8-1 限				喜多村
13	A 1/15-2 限	消毒薬	消毒薬	1. 消毒薬の種類と用途を説明できる。 2. B型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルスなどに有効な 消毒薬を説明できる。	喜多村
	B 1/15-1 限				喜多村
14	A 1/22-2 限	歯科疾患と治療薬	歯・歯髄疾患、歯周疾 患、顎・口腔粘膜疾患と 治療薬、服薬指導	1. 歯と歯髄疾患、歯周疾患、顎・口腔粘膜疾患における治 療薬を理解する。 2. 服薬指導を説明できる。	喜多村
	B 1/22-1 限				喜多村
15	A 2/5-2 限	漢方薬 全体のまとめ	漢方薬 全体のまとめ	1. 漢方薬について理解する。 2. 全体のまとめ	喜多村
	B 2/5-1 限				喜多村

科目名			担当教員		
微生物学・口腔微生物学			中村 卓		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		微生物の基本的知識を学び、人と感染症の関係を理解する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学シリーズ 『疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 第2版』(医歯薬出版)			
成績評価		小テストと定期試験による			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 中村卓			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、微生物の基本的知識を講義し、人と感染症の関係を理解させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/4-2 限	微生物の種類	細菌、真菌およびウイルスの特徴	微生物と呼ばれる生物群を理解し、各微生物の違いを説明できる。	中村(卓)
	B 10/4-1 限				中村(卓)
2	A 10/11-2 限	細菌の一般性状	細菌の観察方法、形態、構造、増殖	細菌の形態観察法、および細菌の一般性状を説明できる。	中村(卓)
	B 10/11-1 限				中村(卓)
3	A 10/18-2 限	滅菌と消毒	滅菌と消毒の定義、滅菌法、消毒法	滅菌と消毒の原理を理解し、具体的方法を説明できる。	中村(卓)
	B 10/18-1 限				中村(卓)
4	A 10/25-2 限	化学療法	化学療法薬、作用機序、薬剤耐性	作用機序による化学療法薬の分類ができる。	中村(卓)
	B 10/25-1 限				中村(卓)
5	A 11/1-2 限	感染	微生物の病原性と宿主の抵抗性	細菌の病原因子と宿主の自然抵抗性を説明できる。	中村(卓)
	B 11/1-1 限				中村(卓)
6	A 11/15-2 限	免疫	免疫の種類	体液性免疫と細胞性免疫の違いを説明できる。	中村(卓)
	B 11/15-1 限				中村(卓)
7	A 11/22-2 限	免疫	免疫機構、抗原抗体反応	抗原と抗体、および主な抗原抗体反応を説明できる。	中村(卓)
	B 11/22-1 限				中村(卓)
8	A 11/29-2 限	免疫	アレルギー	アレルギーの分類および定義を説明できる。	中村(卓)
	B 11/29-1 限				中村(卓)
9	A 12/6-2 限	病原微生物	グラム陽性菌、グラム陰性菌	主な病原細菌の細菌学的特徴と病原因子を説明できる。	中村(卓)
	B 12/6-1 限				中村(卓)
10	A 12/13-2 限	口腔細菌叢	口腔細菌叢と口腔環境	口腔内に多くの細菌が生息していることを理解し、口腔各部位の細菌叢の特徴を説明できる。	中村(卓)
	B 12/13-1 限				中村(卓)
11	A 12/20-2 限	う蝕	バイオフィルム、プラーク、ミュータンスレンサ球菌	プラークがう蝕の成立に重要であることを理解し、ミュータンスレンサ球菌とう蝕の関わりを説明できる。	中村(卓)
	B 12/20-1 限				中村(卓)
12	A 1/10-2 限	歯周病	歯周病原菌	歯周病の各病型に対応する細菌を理解し、それらの細菌学的特徴と病原因子を説明できる。	中村(卓)
	B 1/10-1 限				中村(卓)
13	A 1/17-2 限	その他口腔感染症	真菌症、病巣感染	真菌の一般性状とカンジダ・アルビカンスの特徴を説明できる。	中村(卓)
	B 1/17-1 限				中村(卓)
14	A 1/24-2 限	ウイルス	ウイルスの基本的性状	ウイルスの基本的性状を説明できる。	中村(卓)
	B 1/24-1 限				中村(卓)
15	A 1/31-2 限	ウイルス	DNA ウイルス、RNA ウイルス	ウイルスが原因となる主な感染症を理解し、その原因ウイルスの性状を説明できる。	中村(卓)
	B 1/31-1 限				中村(卓)

科目名			担当教員		
口腔衛生学Ⅱ			川原一郎		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎として歯科衛生統計について学ぶ。			
教科書		(1～9, 15回) 歯科衛生学シリーズ 『保健生態学』(医歯薬出版) (10～14回) 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学－口腔保健統計を含む－第4版(学建書院)			
成績評価		受講態度および定期試験による			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師: 川原一郎			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、公衆歯科衛生・地域歯科保健活動に必要な歯科疾患の疫学の基礎となる歯科衛生統計について講義する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/4-3限	地域保健・公衆衛生①	地域歯科保健の概念・組織	地域歯科保健サービスの現状、組織(保健所・市町村保健センター)の仕組みについて説明できる。	川原
	B 10/3-3限				川原
2	A 10/11-3限	地域保健・公衆衛生②	8020運動、健康日本21、歯科口腔保健法、口腔保健福祉関連施策	8020運動、健康日本21、歯科口腔保健法の概要や数値目標を説明できる。	川原
	B 10/10-3限				川原
3	A 10/18-3限	母子(歯科)保健	母子保健 小児保健 母子歯科保健	母子手帳の交付、妊産婦歯科健康診査、1歳6か月児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査を説明できる。	川原
	B 10/17-3限				川原
4	A 10/25-3限	学校(歯科)保健	学校保健活動と組織 学校歯科保健	1. 学校保健教育、保健管理について説明できる。 2. 学校歯科健康診断と事後措置を説明できる。	川原
	B 10/24-3限				川原
5	A 11/1-3限	成人(歯科)保健	成人保健対策 成人期の歯科保健	1. 成人(歯科)保健対策について説明できる。 2. 代表的な生活習慣病について説明できる。	川原
	B 10/31-3限				川原
6	A 11/15-3限	産業(歯科)保健	職業性疾病 産業保健管理 産業保健活動	1. 労働衛生の3管理、THPについて説明できる。 2. 特殊健康診断・歯の酸蝕症や摩耗症を説明できる。	川原
	B 11/7-3限				川原
7	A 11/22-3限	高齢者(歯科)保健①	高齢者保健制度と関連法規	後期高齢者保険制度について説明できる。	川原
	B 11/14-3限				川原
8	A 11/29-3限	高齢者(歯科)保健②	介護保険制度	介護保険制度について説明できる。	川原
	B 11/21-3限				川原
9	A 12/6-3限	精神保健 災害時の歯科保健 国際保健	精神保健・医療・福祉 大規模災害時の保健医療対策と 歯科保健活動 世界の健康問題 国際協力	1. 精神保健・福祉について説明できる。 2. 災害時の歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 国際協力の仕組みを説明できる。	川原
	B 11/28-3限				川原
10	A 12/13-3限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計①	疫学の方法 歯科疾患の指標	1. 基本的な研究方法を説明できる。 2. 歯科疾患の指標(DMFT、CPIなど)を説明できる。	川原
	B 12/5-3限				川原
11	A 12/20-3限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計②	歯科疾患の疫学	う蝕、歯周疾患の疫学的特徴を説明できる。	川原
	B 12/12-3限				川原
12	A 1/10-3限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計③	衛生統計の基礎①	1. 疫学調査の進め方を説明できる。 2. 基本統計量(代表値、散布度、相関)について説明できる。	川原
	B 12/19-3限				川原
13	A 1/17-3限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計④	衛生統計の基礎②	1. 推定について説明できる。 2. 検定について説明できる。 3. 基本的な検定手法を説明できる。	川原
	B 1/9-3限				川原
14	A 1/24-3限	歯科疾患の疫学と 歯科保健統計⑤	保健統計調査	代表的な国家統計、特に歯科疾患実態調査の近年の動向を説明できる。	川原
	B 1/16-3限				川原
15	A 1/31-3限	まとめ・予備	まとめ・予備	予備。これまでの授業のまとめ。	川原
	B 1/23-3限				川原

科目名			担当教員		
衛生学・公衆衛生学			山賀孝之		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		人々の健康を保持増進するための社会医学を理解し、包括的な問題解決方法の考え方を習得する。口腔衛生学を学ぶのに必要な知識を整理する。			
教科書		歯科衛生学シリーズ『保健生態学』(医歯薬出版)			
成績評価		受講態度および定期試験により判定する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種		歯科医師:山賀孝之			
実務経験を踏まえた授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、人々の健康を保持増進するための社会医学を講義し、包括的な問題解決方法の考え方を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 9/30-2 限	総論	健康の概念 予防医学の概念	1. 健康と疾病の概念、プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 2. Leavell & Clark の疾病の自然史を説明できる。	山賀
	B 9/30-1 限				山賀
2	A 10/7-2 限	疫学①	疫学の定義および概要	1. 疾病や異常の発生要因を説明できる。 2. 疾病の発生や流行状態を表す指標を説明できる。	山賀
	B 10/7-1 限				山賀
3	A 10/16-2 限	疫学②	疫学の方法①	疫学の方法(記述疫学, 分析疫学, 介入研究)を説明できる。	山賀
	B 10/16-1 限				山賀
4	A 10/21-2 限	疫学③	疫学の方法②	1. EBMについて説明できる。 2. スクリーニング検査について説明できる。 3. リスク指標について説明できる。	山賀
	B 10/21-1 限				山賀
5	A 10/28-2 限	人口	人口の動向 人口動態統計	1. わが国および世界の人口動向について説明できる。 2. 人口動態統計(出生, 死亡などに関する統計指標とわが国の動向)を説明できる。	山賀
	B 10/28-1 限				山賀
6	A 11/8-2 限	健康と環境①	環境の概念 空気・水と健康	1. 環境の概念について説明できる。 2. 空気の正常成分・異常成分について説明できる。 3. 温熱環境について説明できる。 4. 上水道・下水道および水質基準について説明できる。	山賀
	B 11/8-1 限				山賀
7	A 11/11-2 限	健康と環境②	放射線と健康 住居・衣服と健康	1. 非電離放射線, 電離放射線の健康への影響について説明できる。 2. 住環境および衣服と健康の関係について説明できる。	山賀
	B 11/11-1 限				山賀
8	A 11/18-2 限	健康と環境③	地球環境の変化と健康への影響 公害と健康への影響	1. 地球温暖化, 酸性雨, オゾン層破壊について説明できる。 2. 環境基本法の定める七公害について説明できる。	山賀
	B 11/18-1 限				山賀
9	A 11/25-2 限	健康と環境④	廃棄物処理	1. 廃棄物処理の概要について説明できる。 2. 医療機関における感染性廃棄物の処理について説明できる。	山賀
	B 11/25-1 限				山賀
10	A 12/2-2 限	感染症①	感染症の成り立ち	1. 感染と発病の概念について説明できる。 2. 感染成立の三要因について説明できる。	山賀
	B 12/2-1 限				山賀
11	A 12/9-2 限	感染症②	感染症の予防	1. 感染症法の理念と同法に基づく類型について説明できる。 2. 主な感染症法の動向について説明できる。	山賀
	B 12/9-1 限				山賀
12	A 12/16-2 限	食品と健康①	食品保健	食中毒の疫学と分類について説明できる。	山賀
	B 12/16-1 限				山賀
13	A 1/20-2 限	食品と健康②	栄養と健康	1. 日本人の食事摂取基準について説明できる。 2. 食生活指針について説明できる。 3. 国民栄養の現状と問題点について説明できる。	山賀
	B 1/20-1 限				山賀
14	A 1/27-2 限	まとめ①	まとめ	予備。これまでの授業のまとめ。	山賀
	B 1/27-1 限				山賀
15	A 2/3-2 限	まとめ②	まとめ	予備。これまでの授業のまとめ。	山賀
	B 2/3-1 限				山賀

科目名			担当教員		
栄養学・栄養指導法			中村美どり、竹内由里		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	後期	2	30	講義	○
授業の目的(GIO)		1. ライフステージ別に必要な栄養を選択できる知識を習得する。 2. 栄養アセスメントを通じて、乳幼児期から高齢期の食事指導が行える能力を習得する。			
教科書		全国歯科衛生士教育協議会監修： 歯科衛生学シリーズ『人体の構造と機能 2 栄養と代謝』 (医歯薬出版)			
成績評価		出席数、提出物と授業態度および期末試験結果から総合評価を行う。			
実務経験のある教員 及び実務経験職種		歯科医師：中村美どり 管理栄養士：竹内由里			
実務経験を踏まえた 授業の内容		歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、ライフステージ別に必要な栄養を選択できる知識を習得させる。 管理栄養士として病院での勤務経験のある教員が栄養アセスメントを通じて、幼児期から高齢期の食事指導が行える能力を習得させる。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 10/3-3 限	栄養素の消化・吸収	栄養素の消化吸収	1. タンパクの消化吸収を説明できる。 2. 脂質の消化吸収を説明できる。 3. ミネラルの吸収を説明できる。	中村(美)
	B 10/4-3 限				中村(美)
2	A 10/10-3 限	食事摂取基準	基礎代謝と食事摂取基準	食事摂取基準を説明できる。	中村(美)
	B 10/11-3 限				中村(美)
3	A 10/17-3 限	栄養素の働き 1	糖質の栄養学	糖質の働きを説明できる。	中村(美)
	B 10/18-3 限				中村(美)
4	A 10/24-3 限	栄養素の働き 2	タンパク質の栄養学	タンパク質の働きを説明できる。	中村(美)
	B 10/25-3 限				中村(美)
5	A 10/31-3 限	栄養素の働き 3	脂質の栄養学・ 水溶性ビタミンの栄養学	1. 脂質の働きを説明できる。 2. 水溶性ビタミンの働きを説明できる。	中村(美)
	B 11/1-3 限				中村(美)
6	A 11/7-3 限	栄養素の働き 4	脂溶性ビタミンの栄養学・ ミネラルの栄養学	1. 脂溶性ビタミンの働きを説明できる。 2. ミネラルの働きを説明できる。	中村(美)
	B 11/15-3 限				中村(美)
7	A 11/14-3 限	食生活と健康 1	国民の健康と栄養 望ましい食生活 1	1. 日本人の食生活の変遷を概説できる。 2. 「健康日本 21」と食の関係を概説できる。 3. 特別用途食品を説明できる。	中村(美)
	B 11/22-3 限				中村(美)
8	A 11/21-3 限	食生活と健康 2	国民の健康と栄養 望ましい食生活 2	食育について説明できる。	中村(美)
	B 11/29-3 限				中村(美)
9	A 11/28-3 限	食べ物と健康	安全面からみた食生活 食品の成分と分類	1. 食品の規格を概説できる。 2. 食品成分表を概説できる。	中村(美)
	B 12/6-3 限				中村(美)
10	A 12/5-3 限	健康調査と評価	栄養調査の手法と評価	1. 国民健康栄養調査結果の概要 2. 栄養評価のまとめ	中村(美)
	B 12/13-3 限				中村(美)
11	A 12/12-3 限	栄養評価 1	食事摂取基準	個人のエネルギー必要量の求め方、摂取量の評価方法を説明できる。	竹内
	B 12/20-3 限				竹内
12	A 12/19-3 限	栄養評価 2	食事バランスガイド	1. 食事バランスガイドを説明できる。 2. 望ましい食事の組み合わせを考えて説明できる。	竹内
	B 1/10-3 限				竹内
13	A 1/9-3 限	栄養指導の実際 1	ライフステージ別食生活 1	成長期、成人期の食生活の特徴を説明できる。	竹内
	B 1/17-3 限				竹内
14	A 1/16-3 限	食品の物性	食物形態の工夫	摂食機能に適した食物形態の工夫を説明できる。	竹内
	B 1/24-3 限				竹内
15	A 1/23-3 限	栄養指導の実際 2	ライフステージ別食生活 2	1. 高齢期の食生活の特徴を説明できる。 2. 栄養指導の必要性を説明できる。	竹内
	B 1/31-3 限				竹内

科目名			担当教員		
身体と健康			上條 隆		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
1	前・後期	2	60	実技	—
授業の目的(GIO)		本講義では、身体の構造と機能を知ることから始まり、アンチエイジング、生活習慣病予防における運動の役割へと話を進める。さらに、理論の応用及び実践を図る。			
教科書		プリント配布			
成績評価		定期試験及び、学習意欲などから総合的に判断する。			
実務経験のある教員及び実務経験職種					
実務経験を踏まえた授業の内容					
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	A 4/12-2 限	第 1 回	本講義の概要	本講義の内容を理解	上條
	B 4/12-4 限				上條
2	A 4/19-2 限	第 2 回	身体の仕組みⅠ(骨構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 4/19-4 限				上條
3	A 4/26-2 限	第 3 回	身体の仕組みⅡ(筋構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 4/26-4 限				上條
4	A 5/10-2 限	第 4 回	身体の仕組みⅢ(循環器の構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/10-4 限				上條
5	A 5/17-2 限	第 5 回	身体の仕組みⅣ(呼吸器の構造と機能)	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/17-4 限				上條
6	A 5/24-2 限	第 6 回	加齢による身体機能の変化について	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/24-4 限				上條
7	A 5/31-2 限	第 7 回	運動と栄養	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 5/31-4 限				上條
8	A 6/7-2 限	第 8 回	身体トレーニング理論	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/7-4 限				上條
9	A 6/14-2 限	第 9 回	無酸素運動とエネルギー	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/14-4 限				上條
10	A 6/21-2 限	第 10 回	有酸素運動とエネルギー	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/21-4 限				上條
11	A 6/28-2 限	第 11 回	身体機能低下予防における運動の役割Ⅰ	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 6/28-4 限				上條
12	A 7/5-2 限	第 12 回	身体機能低下予防における運動の役割Ⅱ	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 7/5-4 限				上條
13	A 7/12-2 限	第 13 回	生活習慣病と血液動態について	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 7/12-4 限				上條
14	A 8/23-2 限	第 14 回	生活習慣病予防における運動の役割	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 8/23-4 限				上條
15	A 8/30-2 限	第 15 回	本講義のまとめ	講義内容の理解と実技への応用を図る	上條
	B 8/30-4 限				上條
16	A 9/30-3 限	第 16 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 9/30-2 限				上條
17	A 10/7-3 限	第 17 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/7-2 限				上條

18	A 10/16-3 限	第 18 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/16-2 限				上條
19	A 10/21-3 限	第 19 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/21-2 限				上條
20	A 10/28-3 限	第 20 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 10/28-2 限				上條
21	A 11/8-3 限	第 21 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/8-2 限				上條
22	A 11/11-3 限	第 22 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/11-2 限				上條
23	A 11/18-3 限	第 23 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/18-2 限				上條
24	A 11/25-3 限	第 24 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 11/25-2 限				上條
25	A 12/2-3 限	第 25 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 12/2-2 限				上條
26	A 12/9-3 限	第 26 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 12/9-2 限				上條
27	A 12/16-3 限	第 27 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 12/16-2 限				上條
28	A 1/20-3 限	第 28 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 1/20-2 限				上條
29	A 1/27-3 限	第 29 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 1/27-2 限				上條
30	A 2/3-3 限	第 30 回	身体運動	各スポーツ種目の技術向上を目指す	上條
	B 2/3-2 限				上條

